

本町自治会

福祉委員人数	10人	世帯数	115
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 3回
- 対象者 町内会長・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数11人)
- 目的 福祉活動における役員間の情報交換・共有、資質の向上
- 実施事業
 - ・第1回福祉委員会議
自治会の概要説明、要支援世帯の把握、地域区割りと担当委員を決め、情報交換をした。
 - ・第2回福祉委員会議
情報交換を行い要支援世帯の把握と支援活動の実施をした。
 - ・第3回福祉委員会議
27年度の各事業の反省と課題の検討を行った。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果
各委員の担当地域が決まり、要支援世帯に対する見守り、声かけ、支援がスムーズにできた。
町内会員に福祉委員の活動の理解が得られ、地域会員からの情報もあった。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 2回
- 対象者 全世帯
- 目的 町内世帯の把握
- 実施事業
 - ・福祉マップの更新
ひとり暮らし高齢者、支援を必要とする高齢者世帯に対する担当福祉委員の色分けマップの更新を行った。
 - ・救急カードの確認
福祉委員が担当地域の対象世帯を訪問し、救急

カードの確認を行った。

●事業成果

訪問によるカード確認により、安否確認ができた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2回
- 対象者 町内会員・高齢者・子ども
- 目的 地域のつながりづくり
- 実施事業
 - ・ふれあい盆踊り大会（8月）
子ども、高齢者を含む町内会員の参加で盆踊り大会を行った。女性部自慢の手料理に舌鼓、子どもたちも夏休みに練習した太鼓を元気にたたき、高齢者も孫たちと踊り、夏の夜の楽しいひと時を過ごした。
町内会館横の空地で実施し、2日間で110人が参加した。
 - ・ふれあい餅つき大会
高齢者、子どもたちを招き餅つき大会を行い、お雑煮をはじめ、餅料理に満腹となり、楽しい交流ができた。
町内会館で実施し、70人が参加した。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ
- 事業成果
参加者の交流によりつながりができ、情報を得ることができ、安否確認ができた。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯
(対象者数41人)
- 目的 見守り・声かけ活動で安否確認
- 実施事業
 - ・見守り、声かけ訪問活動
ひとり暮らし高齢者、支援を必要とする高齢者世帯に担当福祉委員が声かけ訪問を行い、安否確認をした。

・お餅等のお届け活動

ふれあい餅つき大会に併せ、千歳小学校仲良し会の役員等の協力を得て、ひとり暮らし高齢者世帯6世帯に、つきたてのお餅とお土産を届けた。この活動は11年間継続している。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・千歳小学校仲良し会

●事業成果

一時ではあるが、ひとり暮らし高齢者の方と子どもたちの交流ができた。子どもの訪問には、高齢者の方の笑顔が違った。

朝日町西自治会

福祉委員人数	11人	世帯数	228
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 4回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数11人）
- 目的 福祉活動における役員間の情報交換

●実施事業

・福祉委員会（3カ月に1回）

福祉活動の協議・検討及び見守り世帯等に関する情報交換と課題の共有を行った。

・福祉懇談会

町内会役員全員と懇談し、見守り・支援についての意見交換を行った。

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 20回
- 対象者 高齢者・子ども・会員（対象者数120人）

●実施事業

・ふれあいサロン（毎月第1・第3木曜日）

おしゃべり、レクリエーション、健康体操、カラオケ等を実施した。

・朝日町西町内会夏祭り

子どもたちの夏休みに合わせて高齢者と子ども、会員との交流会を実施した。

・ふれあい日帰り旅行（年1回）

果物狩り、温泉施設を利用して交流した。

・誕生会（3カ月に1回）

誕生日会を開催し、高齢者同士の交流と親睦を図った。

・女性部日帰り研修（年1回）

施設見学を実施し見聞を広げた。

●事業成果

ひとり暮らし高齢者の安否確認、心配ごとの把握と高齢者の閉じこもり防止につながった。

また、参加者同士の交流により近隣とのつながりができた。

朝日町東自治会

福祉委員人数	5人	世帯数	70
--------	----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 9回
- 対象者 町内会役員・民生委員児童委員・福祉委員
- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換、行事の打合せ、各研修会のお知らせ

●実施事業

・福祉委員会

福祉活動の話し合いと見守り世帯の情報交換を行った。また、サロン実施後の反省と今後のサロン内容の話し合いと打ち合わせを行った。

・「町内会サロン」の回覧作成・配布

・福祉研修会

千歳市の福祉に関する研修会に参加した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

福祉委員同士とても連帯感ができ、サロン、訪問等がスムーズに進められた。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 75歳以上高齢者・障がい者

●目的 対象者の状況を調べる

●実施事業

・平成27年度対象者会員の名簿及びマップ作成

月1回を目標に訪問、声かけを実施した。

災害時避難行動要支援者の地域支援者を探す手伝いをした。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員、社会福祉協議会

●事業成果

名簿作成により訪問、声かけが円滑に行われ、災害時に名簿が役立つことが分かった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 9回

●対象者 町内会会員

●目的 会員同士の交流、親睦、閉じこもり防止

●実施事業

・会館開放サロン（3月～7月、9月～12月の毎月20日実施）

茶話会、食事会、カラオケ、アレンジ花作り、餅つき等、出前講座（腰痛教室）、健康になるための食セミナー（2回）を実施した。

・交流会（年1回）

春の町内清掃後、町内会館前にてバーベキューを実施した。

●連携・協力機関及び団体

老人クラブ・町内会役員

●事業成果

出前講座や食セミナーは、いつもより多くの参

加があった。参加者同士の交流ができていた。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 月1回実施

●対象者 75歳以上高齢者・障がい者

●目的 地域の支え合い、高齢者との交流、安否確認

●実施事業

・見守り・声かけ訪問活動

月1回を目標に対象者宅の訪問を行い、交流と安否確認に努めた。

・3月のひな祭り

女性対象者にうぐいす餅、桜餅を配った。

・5月の節句

男性対象者にべこ餅、かしわ餅を配った。

●事業成果

地域の会員にも高齢者、障がい者の見守りに協力をもらった。訪問することで話しができ、少しずつうちとけてきた。

真々地自治会

福祉委員人数	13人	世帯数	260
--------	-----	-----	-----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 14回

●対象者 70歳以上の高齢者
(対象者数63人)

●目的 親睦交流

●実施事業

・お便り交流（月1回）

誕生月ごとに担当者より誕生祝のメッセージハガキを送付した。

・会食交流会（年1回）

町内会館での会食交流会を行った。

手作り料理でもてなし、「かみかみ体操」の出前講座とカラオケを行った。

・敬老会（年1回）

70歳以上の高齢者を招待して食事会をし、お祝い記念品と賀寿対象者には花束を贈呈した。

また、女性部の余興(ギター演奏)や日本舞踊、千歳市芸能赤十字奉仕団の琵琶演奏でお祝いした。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・地域包括支援センター・千歳市芸能赤十字奉仕団・女性部役員

●事業成果

高齢者の安否確認や情報交換ができた。
行事をすることで、役員同士の絆が強くなった。

若草町内会

福祉委員人数	25人	世帯数	830
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動(知る・知らせる)

- 実施回数 7回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員・民生委員児童委員(対象者数26人)
- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有・活動の向上

●実施事業

・福祉委員会
町内を6ブロックに分け、“知る”“知らせる”等の活動を定期的実施し、その結果を委員会で情報共有を図り活動方法に役立てた。

- ・研修会の参加
新任福祉委員、現任福祉委員研修会に参加した。
- ・救急カードの更新(随時)

全住民を対象に配布した救急カードを、その情報が近況情報になっているかどうか更新日や内容の啓蒙活動を随時行った。

- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ・役員

●事業成果
見守りや声かけを定期的実施することで、高齢者や独居者との意思疎通が図られ、円滑な実践につながられている。各種研修会での新情報によ

り一層の資質向上が図られた。

2 交流活動(ふれあい・語らい)

- 実施回数 4回
- 目的 世代間を通じた交流や75歳以上の高齢者との親睦を図る

●実施事業

- ・敬老会(75歳以上高齢者)
参加者全員で体操や合唱など行い、近況情報を語らい高齢者同士や役員との親睦を図った。
- ・餅つき大会
20kgのもち米を参加者でつき、納豆餅、大根おろし餅などで、町内会員との親睦を図った。
- ・新春ゲーム大会
小中学校の冬休みを利用し「百人一首やかるた、オセロ」などのゲームを楽しんだ。
- ・ひな人形の展示

町内会員から寄付を受けた「ひな人形」を町内会館に展示し、ふれあい交流を図った。

- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ・役員
- 事業成果

交流事業を進めることにより新しく住民同士のつながりの和ができ、つながりの一助となった。
また、高齢者の今の心情を把握することができ、支え合い活動の構築につながった。

3 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 随時
- 対象者 除雪・避難困難者
- 目的 近隣同士のつながりや孤立防止を図るための支え合いの地域づくりを目指す

●実施事業

- ・除雪支援(要支援者34世帯)
除雪困難世帯を対象に町内会員による除雪支援を実施した。
- ・災害時要援護者避難支援活動
災害時に対応する個別台帳整備を完了し、その

実施方法などの活用について検討中である。

●**連携・協力機関及び団体**

民生委員児童委員・老人クラブ・役員

●**事業成果**

近隣同士のつながりや孤立防止など近所付き合いの大切さを再認識してもらい、支え合いの構築につながった。

里美町内会

福祉委員人数	11人	世帯数	350
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●**実施回数** 6回

●**対象者** 町内会長・民生委員児童委員・福祉委員（対象者数 16人）

●**目的** 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有、資質向上

●**実施事業**

・福祉委員会（年6回）

福祉委員活動の協議・検討及び見守り世帯（名簿）等に関する情報交換、課題の共有を行った。

・「福祉だより」の発行（2回）

5月：福祉委員・民生委員紹介ほか

11月：交流懇親会の開催、イベント内容などを掲載した。

・福祉研修会への参加

社協主催の研修会に参加した。

●**連携・協力機関及び団体**

民生委員児童委員

●**事業成果**

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。

2 調査活動（実態把握）

●**実施回数** 年間を通じて実施

●**対象者** 高齢者 70歳以上

（対象者数 143人）

●**目的** 世帯の状況把握

●**実施事業**

・高齢者名簿作成・更新（65歳以上）

今後の高齢者を把握するため 65歳以上の方も把握し、同時に名簿作成を実施している。

また、必要に応じて見守り・声かけを行った。

●**事業成果**

高齢者と委員との交流ができ、災害時等の備えにもつながっている。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●**実施回数** 1回

●**対象者** 70歳以上及び役員
（対象者数 52人）

●**目的** 町内に居住する高齢者が交流、親睦を深め合い、心を通わせ合う場とする

●**実施事業**

・交流懇親会（1回）

イベントでは札幌からヨーヨークラブ・アスター（競技用パフォーマンス世界選手権準優勝・アジア選手権優勝者）、ビンゴ等を実施した。

●**事業成果**

札幌から来ていただいた競技用パフォーマンスの方たちの若いエネルギー、ヨーヨーの奥深さ、最新のヨーヨーパフォーマンスで喜ばれた。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●**実施回数** 年間を通じて

●**対象者** 高齢者

●**目的** 地域の支え合い・連帯意識の醸成を図り、孤立防止につなげる。

●**実施事業**

・見守り、声かけ訪問活動

・ひとり暮らし高齢者へのお赤飯配布（12/13）

町内会の餅つきに合わせ、お赤飯を配布した。

・75歳以上対象に救急カード事業取組

新 75歳以上の高齢者へ配布し、また、すでに

配布済の高齢者へは、カード内容に変更がないかなどプリント配布と説明を行った。

・除雪支援活動(12/1~3/31)

民生委員の調査に基づき要支援世帯を把握し、町内会回覧にて支援協力者(ボランティア)を募集して、要支援世帯ごとに近隣で担当体制を組み支援を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

安心して生活できる環境づくりに少しでも役に立つことができた。

白樺町内会

福祉委員人数	23人	世帯数	590
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動(知る・知らせる)

●実施回数 12回

●対象者 町内会長・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数27人)

●目的 福祉活動における役員間の情報交換及び資質向上

●実施事業

・福祉委員会(月1回)

福祉活動の協議・検討及び見守り世帯等に関する情報交換、課題の共有を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員との連携強化につながり、福祉活動が円滑に進められた。また、福祉委員等の資質向上につながった。

2 調査活動(実態把握)

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者

(対象者数150人)

●目的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

・要支援世帯台帳の更新

日頃支援を要する高齢世帯や障がい者世帯の状況把握を行った。

・福祉マップの更新

日頃の見守りや非常時に備えた福祉マップの更新を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・市役所

●事業成果

要支援世帯の状況把握により、訪問等が円滑に行われた。災害時等の備えにもつながる。

3 交流活動(ふれあい・語らい)

●実施回数 15回

●対象者 高齢者・障がい者・子育て中の方
(対象者数250人)

●目的 高齢者の孤立防止と町内でのつながりづくり

●実施事業

・ふれあいサロン(月1回)

おしゃべりや体験談を聞き、歌唱等を行った。また、市の出前講座を活用した。

・くだもの狩り(1回)

福祉バスを利用してくだもの狩りを行った。

・お楽しみ交流会(2回)

夏:子どもみこしに合わせて高齢者との交流会(焼肉)を行った。

冬:餅つきとレクレーションを行った。

●連携・協力機関及び団体

老人クラブ・社会福祉協議会

●事業成果

ひとり暮らし高齢者等の安否確認、健康・心配ごとの把握につながった。また、高齢者の閉じこもり防止のもつながり、参加者同士の交流も深まった。

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 250 人)
- 目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り孤立防止につなげる。

●実施事業

・見守り、声かけ訪問活動

ひとり暮らし高齢者世帯等に対して日常的な見守り、声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。

・クリスマス・年末プレゼントの配布

ひとり暮らし高齢者と 75 歳以上高齢者にクリスマスプレゼント・年末プレゼントを配布し安否確認等を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

ひとり暮らし高齢者等の孤立防止につながった。生活上の困りごとに対する相談や安心して生活できる環境づくりにつながった。

柏陽町内会

福祉委員人数	22 人	世帯数	440
--------	------	-----	-----

1 啓発活動(知る・知らせる)

- 実施回数 15 回
- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員
町内会長(対象者数 23 人)
- 目的 委員間の情報交換・共有、事業計画実施要領の確認等

・福祉委員会(2カ月に1回)

高齢者世帯、ひとり世帯に関する情報交換と福祉活動の検討・分担等を行った。

・「福祉だより」発行(年1回)

福祉委員・民生委員児童委員の周知とサロン活動等の案内を各戸配布した。

・福祉施設見学

北海道社会福祉事業団「福祉村」を見学した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

町内会と情報を共有し、委員の連携強化につながった。施設見学は、より多くの知識や見聞を広めることにより、福祉委員の役割と意識の向上につながった。今後も継続していきたい。

2 調査活動(実態把握)

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 75 歳以上高齢者・70 歳以上ひとり世帯(対象者数 100 人)
- 目的 高齢者世帯、見守り必要世帯の現状把握

●実施事業

・高齢者・ひとり世帯名簿の作成(更新)

毎年更新し、現状把握に努め、見守り・声かけを行っている。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・町内会

●事業成果

町内会・民生委員と連携して作成している。委員各自が、もれのないよう確認に努めるようになった。

3 交流活動(ふれあい・語らい)

- 実施回数 7 回
- 対象者 町内会全世帯(対象者数 440 人)
- 目的 高齢者のひきこもり防止と仲間づくり、親睦と交流

●実施事業

・サロン活動(6回)

町内会館を開放し、手芸、おしゃべり、カラオケ等を楽しみ、福祉委員が軽食を用意し、参加者と交流している。

・日帰りバス旅行(1回)

さくらんぼ狩り(壮瞥町)

●**連携・協力機関及び団体**

民生委員児童委員・老人クラブ

●**事業成果**

日帰りバス旅行は毎年、好評なので継続していきたい。今年はくだもの狩りだったので、若い世代の方の参加もあり、内容は大切だと感じた。

サロン活動は参加者が固定化してきているので、工夫が必要である。

75歳以上の方が多いの、ほかの世代の方の参加者も増やしていきたいと思っている。

●**対象者** 福祉委員・民生委員児童委員

●**目的** 福祉委員間の情報・意見交換

●**実施事業**

・**福祉委員会（6回）**

福祉活動についての問題点の確認。見守り世帯に関する情報交換

・**各種研修会等出席（3回）**

福祉に関する知識の向上を図った。

●**連携・協力機関及び団体**

民生委員児童委員・老人クラブ

●**事業成果**

福祉活動での現況把握と問題点が分かり、解決方法の話し合いにより福祉活動が円滑に進められた。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●**実施回数** 1回

●**対象者** 75歳以上高齢者・70歳以上ひとり世帯（対象者数110人）

●**目的** 現状把握、地域の支え合い

●**実施事業**

・**見守り・声かけ活動**

日常的な見守り・声かけを行っている。

・**対象世帯へ粗品配布**

年末に福祉委員が、各自担当班の高齢者宅へ粗品を持って訪問し、安否確認・健康状況等の把握に努めた。

●**連携・協力機関及び団体**

民生委員児童委員

●**事業成果**

楽しみにしている方も多く嬉しいことである。これからも高齢者世帯・ひとり暮らし世帯が増加するので、生活状況を把握し、近隣住民にも協力いただき、孤立防止に努め、町内会とのつながりづくりになれば良いと思う。

2 調査活動（実態把握）

●**実施回数** 年間を通じて実施

●**対象者** 見守り・声かけが必要な高齢者

●**目的** 対象世帯の把握

●**実施事業**

・**福祉マップの作成**

民生児童委員の協力や町内会行事や福祉部行事等を通じて集めた。継続して調査を実施する。

●**連携・協力機関及び団体**

民生委員児童委員、老人クラブ

●**事業成果**

平常時や災害時に対応できるようにマップ作成は必要だと思った。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●**実施回数** 30回

●**対象者** 主に高齢者・町内会行事は全町内会員

●**目的** 町内会員の交流・親睦を通じての仲間づくり

●**実施事業**

・**介護予防サロン（ぶんぶん健康サロン）（25回）**

今年度、新規の事業で、毎月2、3回町内会館で、いきいき百歳体操などの健康運動を行い、お

文京町内会

福祉委員人数	7人	世帯数	568
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●**実施回数** 12回

菓子を食べながら、親睦を深めた。

・交流サロン（4回）

日本酒の利酒会を行い、町内会員の親睦を深めた。

・町内会主催行事の支援（4回）

夏まつり、敬老茶話会、年末餅つき大会、輪投げ大会の支援を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

介護予防サロンでは、高齢者の脚力・筋力の維持・向上を図るとともに高齢者の閉じこもり防止の一助となった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 主に高齢者

●目的 地域の支え合いを通して相互理解を深め、孤立防止につなげる。

●実施事業

・見守り、声かけ訪問活動

敬老茶話会の記念写真と喜寿のお祝い品を訪問して届けた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

訪問時に話しをすることにより、近況を把握することができた。

錦町3丁目町内会

福祉委員人数	3人	世帯数	15
--------	----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 10回

●対象者 町内会長・役員・福祉委員

●目的 福祉委員と役員との合同会議

●実施事業

・意見交換

町内会員と福祉委員、民生委員との情報交換と各部の活動状況の意見交換を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 通年を通じて実施

●対象者 高齢者（対象者数：6人）

●目的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

・状況把握

日常的な支援が必要な高齢者の状況を把握する。また、回覧板等の配布の際に対象者の健康状態や近況を伺った。町内会行事等の案内には必ず声かけをした。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 3回

●対象者 町内会全員、高齢者
（対象者数45人）

●目的 町内会会員の親睦を図る

●実施事業

・親睦交流

1月：新年交礼会及び総会を実施した。

5月：観桜会を町内会館で実施した。

10月：観楓会を町内会館で実施した。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 11月～3月

●対象者 高齢者世帯

●目的 冬期間の除雪及び排雪の支援

●実施事業

・除排雪支援

高齢者世帯の除排雪を町内会員で協力して支援した。除排雪時に健康状態や近況を聞いた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・町内役員

●事業成果

27年度は雪が少なかったため、少しは楽だった。

清水町3丁目町内会

福祉委員人数	2人	世帯数	46
--------	----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 1回
- 対象者 町内在住者（対象者数40人）
- 目的 町内清掃後の食事・懇談、地域のつながりづくり

●実施事業

・清掃

歩道、空き地ほか町内一円の清掃後に食事・懇談を実施した。

●事業成果

参加者同士の交流により、近隣のつながりづくりにつながった。

2 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 3回
- 対象者 ひとり暮らし高齢者（対象者数3人）
- 目的 地域の支え合い、孤立防止につなげる

●実施事業

・声かけ訪問活動

声かけをして暮らしに変わらないか確かめた。

・ひとり暮らし高齢者への長寿祝い品配付

長寿祝い品を届け、安否確認、生活状況等の把握を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

地域のつながりづくりとひとり暮らし高齢者の孤立防止につながった。

清水町5丁目町内会

福祉委員人数	1人	世帯数	35
--------	----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 3回
- 対象者 町内会役員（対象者数15人）
- 目的 町内の福祉活動情報の共有化
- 実施事業

・役員会

町内役員会において、高齢者世帯等の状況の把握をはじめ、福祉活動についての情報交換等を行い、認識を共有する。

●事業成果

町内会役員が情報を共有化することにより、個人情報に配慮しながら、高齢者等の支援が図られた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 3回
- 対象者 町内会全員（対象者数33世帯）
- 目的 会員相互の親睦と交流

●実施事業

・親睦バーベキュー

町内の広場でバーベキューを行い、高齢者から幼児まで幅広い層の人々との親睦とコミュニケーションの場となっている。

・忘年会

一年の締めくくりに忘年会を開催し、ゲームやカラオケ等を行い、楽しい時間を過ごし会員相互の親睦と交流を図った。

・茶話会

気楽におしゃべりをする場として情報交換とコミュニケーションを図る。

●事業成果

町内会全体での交流活動は、地域の連携と絆が一層強くなる良い機会となっている。

3 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 通年実施
- 対象者 ひとり暮らし高齢者
(対象者数4人)
- 目的 ひとり暮らし高齢者等の安否確認とコミュニケーションを図る
- 実施事業
 - ・訪問活動
ひとり暮らし高齢者を訪問し、面談のうえ安否確認と状況把握を行った。
 - ・声かけ、見守り活動
日頃から近くの役員による声かけ、見守りを実施した。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果
面談をすることで健康状態や生活状況を把握することができ、コミュニケーションが図られた。

幸町連合会

福祉委員人数	6人	世帯数	193
--------	----	-----	-----

1 啓発活動(知る・知らせる)

- 実施回数 4回
- 対象者 町内会長・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数14名)
- 目的 福祉委員活動における委員間の情報交換・共有、資質向上
- 実施事業
 - ・福祉委員会(3カ月に1回)
福祉活動の協議・検討及び見守り世帯等に関する情報交換、課題の共有を行った。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・町内会役員
- 事業成果
福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携

強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。

2 調査活動(実態把握)

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者、障がい者
(対象者数30人)
- 目的 高齢者世帯、要支援者世帯等の状況把握
- 実施事業
 - ・福祉マップの作成(更新)
高齢者世帯や障がい者世帯の状況を把握し、日常の見守りや非常時に備えた福祉マップを作成(更新)した。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ・町内会役員
- 事業成果
要支援世帯の状況把握により日常の見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになり、災害時の備えにもつながっている。

3 交流活動(ふれあい・語らい)

- 実施回数 1回
- 対象者 ひとり暮らし高齢者・町内会役員・会員(対象者数54人)
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり、地域とのつながりづくり
- 実施事業
 - ・ひとり暮らし高齢者とのお楽しみ交流会
町内会の新年会とあわせ、ひとり暮らし高齢者を招き、町内の役員等と近況を語り合い、交流を深めて新年をお祝いした。普段、顔を合わせない人と間近に会って、親近感を深めてもらい、温かい人間関係の醸成の一役になればと思いながら実施した。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ・町内会役員
- 事業成果
ひとり暮らし高齢者等の安否確認や健康状態、

心配ごとの把握につながった。参加者同士の交流により、近隣のつながりづくりの一助となり、高齢者の閉じこもり防止にもつながった。

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者、障がい者
(対象者数 30 人)
- 目的 地域の支え合い、連帯意識の高揚・醸成を図り孤立防止につなげる。

●実施事業

・見守り、声かけ訪問活動

ひとり暮らし高齢者世帯等に対して、日常的な見守りや定期的な声かけ訪問を行い、安否確認及び近況の確認と世帯状況の把握に努めた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・町内会役員

●事業成果

近隣住民の方にも協力いただき、地域とのつながりづくりとひとり暮らし高齢者等の孤立防止につながった。

栄町西区町内会

福祉委員人数	11 人	世帯数	230
--------	------	-----	-----

1 調査活動(実態把握)

- 実施回数 年間を通して開催
- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 85 人)
- 目的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

・福祉マップの修正等

福祉マップの修正及び災害時における避難経路の点検、指定避難場所の再確認、会場の再確認を継続して行っていく。

・救急カード事業

救急カードの更新等について継続して行っていく。

・福祉委員会

福祉委員会を開催し、活動上の問題点を検討し、情報交換を行い、訪問・声かけ等の活動を実施した。

●事業成果

調査活動を理解されたと思われるが、他人に依頼することにためらいがある。(個人情報を通して)今後の訪問活動を通じてさらなるPRを続けて行きたい。

2 交流活動(ふれあい・語らい)

- 実施回数 5 回
- 対象者 75 歳以上の高齢者
- 目的 高齢者とのふれあい食事会
- 実施事業

・敬老会への招待(9月出席者 42名)

75 歳以上の高齢者を招待し、町内の女性役員、福祉委員の手作り料理でお祝いをした。

・クリスマス昼食会への招待(12月出席者 38名)

ひとり暮らし高齢者等を招待し、女性役員、福祉委員らによる愛情たっぷりの手料理を満喫した。

・高齢者との交流会(さくら会)の実施(3回)

さくら会(福祉部)による出前講座・座談会を実施し、高齢者と交流会を行った。

●事業成果

根気よく参加を呼びかけることにより、出不精な高齢者が参加してくれたことが喜ばしい。また、老人クラブへの加入にもつながった。

3 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 必要に応じて実施
 - 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 10 人)
 - 目的 地域の支え合い、生活弱者の支援
 - 実施事業
- #### ・除雪支援(協力者 17 名・延 68 回)

除雪困難な対象者に対し、近隣の町内会員の協力を得て除雪支援を実施し、冬期間に安心して生活できる手助けを実施した。

・ **子どもの見守り隊活動の実施**

北栄小学校年間行事予定表により見守り活動を実施した。

● **事業成果**

継続は力なりのごとく、実施を継続することにより、良好な人間関係がつけられ、色々な情報を把握できた。近所付き合いの重要性を再認識してもらえ、より良い人間関係につながった。

栄町東町内会

福祉委員人数	3人	世帯数	170
--------	----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

- **実施回数** 1回
- **対象者** 70歳以上高齢者(対象者数 41名)
- **目的** 高齢者の状況把握
- **実施事業**
 - ・ **訪問活動**

敬老日に焦点をあて、該当者を全件訪問した。

また、入院している方には家族と面談を行い、施設に入所されている方については、家族に了解を得て面接を実施した。
- **連携・協力機関及び団体**
- 町内会長
- **事業成果**
- 高齢化に伴い会館に足を運ぶことができない方には、こちらから、出かけて面接をすることができ、大きな成果があった。



春日町2丁目町内会

福祉委員人数	9人	世帯数	165
--------	----	-----	-----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

- **実施回数** 3回
- **対象者** 町内会加入者（対象者数 110人）
- **目的** 高齢者の親睦交流及び町内会員の親睦交流
- **実施事業**
 - ・ **町内餅つき大会**

町内開館前にて、大臼2個で餅つきをした。子ども用の臼も用意して、みんなに餅つきを体験してもらった。また、綿あめ、串焼き、ポップコーン等も体験し、参加者には餡入り餅を手作りしてもらった。
- ・ **新年親睦交流会・敬老会**
- 新年親睦交流会に合わせ、70歳以上の高齢者を招待して敬老会を実施した。余興として手品、民謡を鑑賞し、その後、カラオケ、ダンス等を楽しんだ。食事では、弁当と女性部の手作り料理を提供した。参加できなかった独居高齢者には、弁当を配付した。
- ・ **旅行会**
- 千歳市福祉バスを利用して、積丹半島を一周し、積丹ブルーと海鮮丼を楽しんだ。
- **連携・協力機関及び団体**
- 老人クラブ(春日東清流クラブ)
- **事業成果**
- 餅つき大会は4回目となり、ますます参加者が多くなり、担当者の作業もスムーズにできた。子どもや高齢者を中心に楽しい企画、行事となった。
- 敬老会は和気あいあいと実施することができ、親睦をより一層深めることができた。特に高齢者の健康状況が分かり有意義であった。
- 旅行会は、普段顔を見ることがない高齢者も参加し、健康状態を知ることができた。

春日町3丁目町内会

福祉委員人数	3人	世帯数	94
--------	----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 18回
- 対象者 高齢者・子ども
(対象者数250人)
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり
地域のつながりづくり

●実施事業

・ふれあいサロン（月1回）

町内集会室でお菓子や果物を食べながらおしゃべりをして会員の交流を図った。

・夕方トークサロン（4回）

町内集会室で夕方にお酒を楽しみながらおしゃべりをして会員の交流を図った。

・ふれあいパークゴルフ大会（1回）

指宿公園パークゴルフ場で大会(雨天のため中止)、昼食会で会員の交流を図った。

・町内餅つき大会（1回）

春日東会館で餅つきを実施、ついた餅で昼食会を行い会員の交流を図った。

●事業成果

ひとり暮らし高齢者の安否確認や健康状態、心配ごとの把握につながり、参加者同士の交流により近隣のつながりづくりと高齢者の閉じこもり防止につながった。

春日町5丁目会

福祉委員人数	1人	世帯数	49
--------	----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 年2回
- 対象者 町内役員・福祉委員
民生委員児童委員

(対象者数5～7人)

- 目的 町内役員との情報交換、行事等の案内準備

●実施事業

町内役員との打ち合わせ、情報確認を行った。高齢者世帯へ安否確認と町内会事業へのお誘い。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

役員同士の情報共有ができた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 年5～6回

- 対象者 高齢者・町内役員
(対象者数20人)

- 目的 町内会員との交流、健康増進

●実施事業

・カラオケ交流、昼食会

カラオケ同好会でカラオケ大会をし、交流を図り、一人ひとり食材を持ち寄り昼食会を実施した。

・お楽しみ交流会

パークゴルフ（年1回）

麻雀大会（冬、月1回）

●連携・協力機関及び団体

老人クラブ

●事業成果

パークゴルフは、体力づくりも役立ち、昼食会を通して高齢者の安否確認ができた。

大和2丁目町内会

福祉委員人数	3人	世帯数	45
--------	----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 0回
- 対象者 高齢者・子ども等
(対象者数28人)

- **目的** 高齢者・ひとり暮らし高齢者の孤立防止及び健康状態等の把握

● **実施事業**

・町内レクリエーション及び新春の事業は、会場等の都合により中止となった。

2 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- **実施回数** 2回

- **対象者** 高齢者・子育て中の家庭
(対象者数 29 人、2 組)

- **目的** 高齢者の長寿祝いと健康状態確認、若年未加入者の加入促進

● **実施事業**

- ・敬老会(10月1回)

75歳以上の高齢者へ記念品を贈呈した。

- ・おせち配布事業(12月1回)

ひとり暮らし高齢者へ商品券を贈呈した。

- ・子育て支援協力事業

個人情報関係から中止した。

- **連携・協力機関及び団体**

民生委員児童委員・老人クラブ

- **事業成果**

対象者宅を訪問し、健康状態等を再確認することができた。

子育て支援協力事業は、近年、個人情報関係が厳しくなっていることから、今後、事業には協力するが、新規加入促進は、転入者への声かけを行いながら会員加入促進を図ることにした。

桂木1・2丁目町内会

福祉委員人数	7人	世帯数	150
--------	----	-----	-----

1 啓発活動(知る・知らせる)

- **実施回数** 10回

- **対象者** 町内会長・役員・福祉委員
(対象者数 25 人)

- **目的** 福祉活動における役員間の情報共有・資質向上

- ・ **福祉委員会(2ヵ月に1回)**

福祉活動について協議・検討及び見守り世帯等の情報交換・課題の共有を行った。

- ・ **福祉研修会への参加**

千歳市地域福祉勉強会、地域福祉フォーラム、福祉委員研修会等に参加した。

- **連携・協力機関及び団体**

社会福祉協議会・市役所

- **事業成果**

福祉委員同士のみならず、町内役員との連携強化につながり、地域福祉課活動が円滑に進められた。地域活動に対する関心が高まり、福祉委員等の資質向上につながった。

2 交流活動(ふれあい・語らい)

- **実施回数** 3回

- **対象者** 高齢者・子ども
(対象者数 140 人)

- **目的** 高齢者の孤立防止と仲間づくり、地域のつながりづくり

- **実施事業**

- ・餅つきとお楽しみ交流会

子どもたちの冬休みに合わせて高齢者との交流会を実施した。

- ・生き生きサロン

「大人のための頭の体操」と題し、クイズとゲームを実施した。また、カラオケ大会を実施した。

- **連携・協力機関及び団体**

社会福祉協議会

- **事業成果**

参加者同士の交流により近隣のつながりにつながった。

高齢者の閉じこもり防止と健康状態等の把握につながった。

3 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- **実施回数** 年間を通じて実施

- **対象者** 高齢者
(対象者数 75 人)

- **目的** 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り孤立防止につなげる

● **実施事業**

・ **見守り、声かけ訪問活動**

ひとり暮らし高齢者世帯に対して、日常的な見守りや定期的な声かけ、訪問を行い、安否確認と世帯の状況把握に努めた。

・ **ひとり暮らし高齢者への年末の給食支援**

年末に給食支援の訪問をし安否確認と生活状況の把握を行った。

● **事業成果**

近隣の方にも理解・協力をもらい、地域のつながりづくりとひとり暮らし高齢者の孤立防止につながった。

生活上の困りごとに対する相談や細かな声かけ、支援により安心して生活できる環境づくりにつながった。

桂木 3・4丁目町内会

福祉委員人数	5人	世帯数	210
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- **実施回数** 8回
- **対象者** 町内会長・役員・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数18人）
- **目的** 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有

・ **福祉委員会（2カ月に1回）**

福祉活動の協議・検討及び見守り世帯等に関する情報交換、課題の共有を行った。

・ **福祉研修会に参加（1回）**

「千歳地域SOSネットワーク研修会」に参加した。

● **連携・協力機関及び団体**

民生委員児童委員・社会福祉協議会・市役所

● **事業成果**

福祉委員及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動を円滑に進めることが

できた。

福祉委員に対する関心が高まり、福祉委員等の資質向上につながった。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- **実施回数** 6回
- **対象者** 高齢者・障がい者・子ども（対象者数100人）
- **目的** 高齢者の孤立防止と仲間づくり、地域のつながりづくり

● **実施事業**

・ **歩こう、パークゴルフ会（3回）**

指宿公園までゆっくり歩きパークゴルフを楽しんだ。

・ **お楽しみ交流会（1回）**

高齢者と子どもたちとの交流会として冬に「餅つき」を行った。

・ **ふれあい日帰り旅行（1回）**

温泉施設を利用して交流した。

・ **出前講座の開催（1回）**

市の出前講座「カローリング」を開催した。

● **連携・協力機関及び団体**

社会福祉協議会・市役所

● **事業成果**

参加者同士の交流により、近隣のつながりづくり、高齢者の閉じこもり防止につながった。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- **実施回数** 16回
- **対象者** 高齢者・障がい者（対象者数7人）
- **目的** 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り孤立防止につなげる

● **実施事業**

・ **見守り・声かけ訪問活動（6回）**

ひとり暮らし高齢者世帯に対して、日常的な見守りや定期的な声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。

・ **「敬老の日」粗品配布**

高齢者に永年の労苦を謝し粗品を届け、併せて安否確認や生活状況の把握を行った。

・除雪支援活動（9回）

ひとり暮らしの高齢者世帯の状況把握に努め、冬期間の除雪支援を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

ひとり暮らし高齢者等の安否確認、心配ごとの把握につながった。

地域のつながりづくりとひとり暮らし高齢者等の孤立防止につながった。

桂木5・6丁目町内会

福祉委員人数	3人	世帯数	132
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 12回

●対象者 町内会長・民生委員児童委員・役員・福祉委員（対象者数10人）

●目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有

●実施事業

・福祉委員会

福祉活動の協議・検討及び見守り世帯等に関する情報交換・共有を行った。

・「福祉委員だより」の発行

福祉委員の周知、福祉イベントの案内を作成し、70歳以上の方全員に手渡しで届けた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携、会長・役員との連携が円滑に進められた。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者
（対象者数90人）

●目的 状況把握

●実施事業

・台帳の作成

高齢者世帯等の状況を把握するため、台帳を作成し町内のマップを活用して、日常の見守りや声かけを行い、また、高齢者を介護する家族に対する支援も行った。

●連携・協力機関及び団体

町内会長

●事業成果

福祉委員全員が台帳マップに基づいて全体の把握が共有できた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 3回

●対象者 高齢者（対象者数70人）

●目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり、地域のつながりづくり

●実施事業

・歩こう会（5月～11月まで43回）

桂木2号公園に集い、9時～10時までおはよう橋、青葉公園までの往復をみんなとおしゃべりしながら歩いた。（ノルディックウォーキングの方もいる。）

・日帰り温泉ツアー（1回）

近郊の温泉の送迎バスを利用し、昼食、カラオケ、散策、入浴等で親睦を深め1日を過ごした。

・敬老会（1回）

町内会で高齢者のお祝いをするため、福祉委員は全員に案内を届け、出欠の確認を取った。欠席者には記念品を届けた。

・お楽しみ会（1回）

集りやすい町内会館を会場とし、福祉委員手作りの昼食でカラオケ、おしゃべり等で交流した。

●事業成果

高齢者、ひとり暮らし等の安否確認や健康状態、心配ごとの把握ができた。

参加者同士の交流の場となり、楽しそうに対話

がはずみ、元気になった。

ひとり暮らしの方の閉じこもり防止につながった。

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 90 人)
- 目的 地域の支え合い、孤立防止につなげる
- 実施事業
・見守り・声かけ訪問活動
ひとり暮らし、高齢者世帯に対して、見守りや定期的な声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果
福祉委員との信頼関係が深まり、ひとり暮らしの方、高齢者世帯等の対話が円滑になり、生活上の困りごとに対する相談や地域とのつながりづくりなど孤立防止につながっている。

新星町内会

福祉委員人数	2人	世帯数	63
--------	----	-----	----

1 啓発活動(知る・知らせる)

- 実施回数 6回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員
(対象者数 30 人)
- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換
- 実施事業
・福祉委員会
福祉活動の協議、検討及び見守り世帯等に関する情報交換、課題の共有を行った。
- 連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められ、福祉活動に対する関心が高まった。

2 調査活動(実態把握)

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 30 人)
- 目的 要支援世帯(高齢者)の状況把握
- 実施事業
・要支援(高齢者)世帯台帳の作成(更新)
日常的な支援が必要な高齢者世帯や障がい者世帯の状況を把握するため、台帳を作成し必要に応じて見守りや声かけを行った。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果
要支援世帯の状況把握により、日常の見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになった。

3 交流活動(ふれあい・語らい)

- 実施回数 4回
- 対象者 高齢者・地域住民・子ども
(対象者数 40 人)
- 目的 高齢者の仲間づくり、温かい人間関係の構築
- 実施事業
・ふれあいサロン(年2回)
おしゃべり、食事会、レクリエーション、カラオケ等を実施した。
- ・高齢者との昼食会(年2回)
ゲーム、余興、食事会等(町内会員とバーベキュー)を実施した。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・社会福祉協議会
- 事業成果

参加者同士の交流により近隣のつながりづくりになり、高齢者の閉じこもり防止につながった。

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 30 人)
- 目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図る

●実施事業

・見守り・声かけ訪問活動

日常的な見守りや定期的な声かけ訪問を行い安否確認と世帯状況の把握に努めた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

近隣住民にも協力を得ながら、地域のつながりづくりと高齢者等の孤立防止につながった。

北斗南町内会

福祉委員人数	6 人	世帯数	172
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動(知る・知らせる)

- 実施回数 5 回
- 対象者 社会的弱者(高齢者・病弱者
ひとり住まい高齢者)
- 目的 地域福祉活動の推進・福祉委員の
資質向上のための研修

●実施事業

・福祉委員会

町内における組織的福祉活動の意義と具体的活動計画についてと担当区域別に事業対象者の状況把握及び情報交換を行った。また、福祉マップの作成を行った。

・各種行事の支援

夏祭り(七夕)、敬老会、餅つき大会の支援を行った。

・福祉に関する各種研修活動等への参加

福祉研修会及び北桜コミュニティ協議会コミセン祭りに参加した。

・福祉のための資源等の収集活動

資源回収庫にリングプル・使用済み割り箸、古切手等の収集箱を設置した。

●事業成果

事業をとおして町内会の福祉活動の意義について知り、福祉の大切さを実感した。

2 交流活動(ふれあい・語らい) ①

- 実施回数 1 回
- 対象者 町内会員・児童生徒
- 目的 三世代ふれあい世代間の意識、絆を確かめ合う

●実施事業

・三世代ふれあいラジオ体操(1回)

夏休み中の児童生徒の健在育成を図るため、青少年部が担当し、高齢者や父母の参加により実施した。

・七夕祭り(1回)

七夕行事を通して町内会員相互、子ども相互、町内会全体での世代間の交流を図った。

・餅つき(1回)

家庭では経験できなくなった日本の伝統行事を子どもにも体験させ、文化の伝承を図るとともに世代間の交流を図った。

●事業成果

ともすると断絶する傾向のある世代間の交流を、行事をとおしての絆が深められ、日常生活でも交流の場面が見られるようになった。

①三世代ふれあいラジオ体操では、高齢者の参加が増えている。

②七夕祭りでは、各世代の参加があり、特に若い母親の参加が多かった。

③餅つきでは、高齢者の参加が多く、餅をつく若手の参加を呼びかけたところ、参加者が増え、特に父親の参加が増えた。また、子どもたちも増え次年度から明るい見通しが持てた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）②

- 実施回数 1回
- 対象者 80歳以上の高齢者（52名）
町内会員
- 目的 「敬老の日」にちなんで、80歳以上の高齢者を招待し、町内会員とともに長寿を祝う

●実施事業

・敬老会

80歳以上の高齢者を招待して長寿を祝い、祝い品（当年80歳になられた方）を贈呈し、町内会員とともに益々の長寿を祈念し、交流祝賀会を実施した。

招待状は、福祉委員が各人に配布し、出欠を伺った。招待者を中心にして、祝賀会を盛り上げる事ができた。

●事業成果

高齢化の進む中、招待者の高齢者（90歳以上）の出席は減っているが、当年80歳になった方は楽しみにしていて出席率がよかった。いろいろな余興を工夫して楽しく行った。

北斗2丁目自治会

福祉委員人数	2人	世帯数	95
--------	----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2回
- 対象者 高齢者（単身）世帯（73名）
- 目的 高齢者間の親睦・交流を図り、支え合い、助け合うところを醸成し、良好な人間関係を確立する

●実施事業

・自治会福祉懇談会・出前講座（6月参加者43名）

出前講座「気づいて、身近に潜む虐待～高齢者虐待を予防するために地域にできること」を千歳市西区包括支援センター長による講話を1時間実施した。

会食・懇談会では、自治会女性部の支援により手作り料理（カレーライス等）による会食を行った。また、町内会長が自治会内の高齢（単身）世帯の現状（世帯及び人員等、要介護者等の家族介護及び生活実態等）についてを紹介し、その後自由懇談を実施した。

・自治会ふれあいサロン活動（11月加者30名）

出前講座「学びましょう！認知症」を千歳市介護予防センターによる講話を1時間実施した。

会食・懇談会では、自治会女性部の支援を得て手作り料理（郷土料理：山形芋煮）による会食と2名のフリートーク（私の健康管理等）のほか、自由懇談を実施した。

●事業成果

出前講座では、虐待の実態・種類を認識するとともに家族、地域住民としていかに防止すべきかを学んだ。また、認知症の症状・特徴等を理解するとともに、認知予防のための生活習慣の改善がいかに重要であるかを認識できた。手作り料理を食べながら、ふるさとへの想いを語り、また、料理を作ってくれた女性部へ感謝をしつつ懇談し、高齢者間の親睦を深めることができた。



北斗3丁目町内会

福祉委員人数	5人	世帯数	174
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 10回

●対象者 福祉委員（対象者数5人）

●目的 情報の交換と確認

●実施事業

・福祉委員会

定例役員会開催後に福祉委員会を開催し、情報交換を月1回実施（4月と12月を除く）した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

町内会を3つのブロックに分けて担当しているので、各ブロックの情報を共有し確認することが可能となっている。今後も継続したい。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 1回

●対象者 75歳以上の61世帯

●目的 75歳以上の方の健康状態を確認

●実施事業

・夏祭りへの案内と健康状態確認

75歳以上の家庭へ町内会開催の夏祭りへの招待券を発行し、会場となる会館前の駐車場まで出向いてもらうことにより、本人の歩行状態等を確認できる良い機会となっている。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

61世帯中、46世帯の方の参加（75.4%）があり、継続していきたい。

昨年の参加（79.66%）より下がっているのが気になる。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 1回

●対象者 75歳以上の寡婦（対象者数9人）

●目的 新年を迎える一助になれば

●実施事業

・おせち料理配布

町内会女性部と共催で、独居老人へおせち料理を配布して、今年起きた嫌なことは忘れ希望を持

って新年を迎える一助にしてもらった。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・女性部

●事業成果

継続していきたい。

北斗西町内会

福祉委員人数	12人	世帯数	130
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 6回

●対象者 福祉委員長・福祉委員

民生委員児童委員

（対象者数11人）

●目的 小地域福祉ネットワーク活動

計画の策定、情報・意見交換

●実施事業

・福祉委員会

①27年度活動状況の報告及び事後の打合せ、ひとり暮らし高齢者の近状確認を実施した。

②夏祭りでの成果報告及び今後のさらなる参加者の向上について検討した。

③ひとり暮らし高齢者と語る会についての成果及び反省事項について

④ふれあいサロンにひとり暮らしの高齢者に参加してもらうための施策について検討した。

⑤ひとり暮らし高齢者の近況についての情報交換と除雪支援の調整について協議した。

⑥町内餅つき大会招待計画についての検討を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

地区担当民生委員が福祉委員長を兼任し、千歳市等からの情報が速やかに伝達でき、福祉委員との意思の疎通が図れ、また、町内事業と一体化し円滑に推進できた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 通年
- 対象者 福祉委員長・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数 10 人)
- 目的 ひとり暮らし高齢者の日常を温かく見守り不慮の事態を予防する

●実施事業

・訪問活動

ひとり暮らし高齢者の日常生活の気配りを主体にし活動を推進、福祉委員会・役員会の場で情報を交換し、その状況に応じた活動を行った。特に町内の対象者は女性が多いため、訪問声かけは、女性福祉委員が中心となり担当 2 名以上で訪問を実施した。

防犯対策で戸締りなどを確認したが、問題はなく、訪問面談では特に変わったことはなく、困っている事項もないことが確認できた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

この事業に取り組んでから、道路等で会っても以前より明るく声かけあえるような雰囲気になってきているので、引き続き実施していき、町内会全体に広めていきたい。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 7 回
- 対象者 独居老人等（対象者数 10 人）
65 歳以上で希望する方
(対象者数 134 人)
- 目的 高齢者の地域に対するニーズの把握及び交流ふれあいの強化
また、高齢者の交流の場を設けるとともに心情等を把握する。

●実施事業

・夏祭り（1 回）

高齢者と福祉委員が面談等を行い、近状につい

て雑談し、また、他の町内会員とも交流を深めた。

・餅つき（1 回）

町内餅つき・お楽しみ会を活用し、子ども会・長寿クラブの高齢者及び子どもの父母たちと餅つき・ビンゴゲーム・会食及び懇談等が良くでき、また、和やかに三世代にわたる交流が行われ良好な事業となった。

・高齢者との交流（5 回）

高齢者相互の交流および各新任支援者等（福祉委員）との面談を実施し、風通しの良い環境を構築した。昼食会及び催し等（ふれあいサロン 2 回）を行い、更なる懇親を深めるとともに高齢者の心情等を把握し、一人ではないことを理解してもらい、欠席された方々についても声かけを中心に実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

今年度は温暖で多数の対象者が出席し、子ども会と合同だったので活気があふれた行事となった。高齢者相互の懇親を深めることができ、また、最新の心情を把握できた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

夏祭りは、天候にも恵まれ有意義であった。

また、今年度は温暖で多数の対象者が多数出席し、子ども会と合同だったので活気があふれた行事となった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 11 回
- 対象者 ひとり暮らし高齢者・独居老人等
(対象者数 19 人)
- 目的 ひとり暮らし高齢者へのお餅等宅配と除雪支援

●実施事業

・ひとり暮らし高齢者へ宅配事業（1 回）

町内会行事の餅つきに参加できなかった、ひとり暮らし高齢者に対し面談を行うとともに、年末

におせち料理を購入して、福祉委員・福祉厚生部長等が直接ご自宅に声かけ活動を兼ね訪問し、高齢者の状況を確認した。その際、除雪ボランティア該当者には趣旨を説明し、町内会も積極的にバックアップしていることを知らせた。

・ひとり暮らし高齢者宅等除雪支援（10回）

ひとり暮らし高齢者7世帯、高齢者世帯1世帯に対し延べ78回除雪支援を行い、生活・緊急避難路を確保した。また委嘱除雪ボランティアの7名で除雪支援組織を確立し、さらに福祉委員及び町内会役員が更なる支援を実施して、週に一度及び降雪量に応じて各高齢者宅周辺の状況を巡回確認した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

対象高齢者宅を直接訪問したが健康状態も良好であり、全員そろって元気に正月を迎えられたことを確認でき良かった。それぞれの高齢者の方から感謝の言葉をいただき、来年度も実施したい。

今年度の降雪は若干少なかったものの、極寒の日が続いた。除雪回数は平年より少なかった。

除雪ボランティアの方々は非常によく実施し、各高齢者からお礼の言葉をいただいた。来年度も積極的に支援を実施していきたい。

北斗北町内会

福祉委員人数	5人	世帯数	157
--------	----	-----	-----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 4回

●対象者 高齢者、子ども、町内会員

●目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり、地域のつながりづくり

●実施事業

・町内親睦パークゴルフ大会（2回）

パークゴルフを通じ、会員の親睦・交流を図った。

・夏祭り（1回）

子供たちの夏休みに合わせて、高齢者や地域の会員との交流会を実施した。（内容：バーベキュー、ゲーム、おやつ配付、抽選会、花火、盆踊り）

・敬老会（1回）

75歳以上の対象者94名中、傘寿9名、米寿4名、白寿1名の方にお祝い金を贈呈した。余興では尺八とギターの演奏会があり、楽しい会となった。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会

●事業成果

ひとり暮らし高齢者等の安否確認や健康状態、心配ごとの把握につながった。参加者同士の交流により近隣のつながりづくりと高齢者の閉じこもり防止につながった。

2 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・病弱・独居者
（対象者数20人）

●目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り孤立防止につなげる

●実施事業

・除雪支援活動

ひとり暮らし高齢者世帯に対して、生活道路の確保と安否確認のための除雪を実施した。今年を対象9世帯を131回、延べ240人で実施した。

・「お祭りチケット」の配付（1回）

夏祭りの行事にあわせて、75歳以上のひとり暮らし高齢者へ「お祭りチケット(1,000円相当)」を届けて、参加の呼びかけに併せて、安否確認や生活状況の確認を行った。

・ひとり暮らし高齢者ぶらぶら巡り旅（1回）

ひとり暮らし高齢者世帯の状況把握に努め、近隣へのぶらぶら旅と買い物などの支援を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・福祉委員

●事業成果

近隣住民にも協力いただき、地域のつながりづくりとひとり暮らし高齢者の孤立防止につながった。また、生活上の困りごとに対する相談や細やかな支援により、安心して生活できる環境づくりにつながった。

自由ヶ丘町内会

福祉委員人数	61人	世帯数	975
--------	-----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 1回
- 対象者 65歳以上
- 目的 年長者名簿の作成
- 実施事業

- ・年長者名簿の作成（年1回）

町内会在住の65歳以上の年長者名簿の作成を区ごとに区長と連携を取り調査し実施した。

- ・各区長による、会員名簿の更新

- 事業成果

65歳以上年長者を把握することができ、敬朗会・桜寿会への参加・入会の促進を図った。会員名簿により家庭環境・家族構成・健康状態の把握ができた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 13回
- 対象者 高齢者・福祉委員・役員
民生委員児童委員
(対象者数288人)
- 目的 相互の親睦を基準とし、地域の仲間づくりの輪を広げる。
- 実施事業

- ・パークゴルフ大会（3回）

高齢者と地域住民との交流を行った。

- ・お楽しみ交流会（10回）

高齢者と地域住民との交流を実施した。（焼肉2回、お楽しみ会2回、そば打ち2回、新年交流

会2回）

- ・敬朗会（実施なし）

北桜コミセン改装工事のため中止となった。

- 事業成果

区ごとに少ない予算の中で工夫（区長と連携）をこらし、高齢者・若者・地域住民との交流を図るとともに、声かけ・健康状態・家族構成・家庭環境などを各催事の中で自然に掌握・確認することができた。

しかしながら、75歳以上が毎年約50名くらい増加していることから、敬朗会開催の見直し時期がきている。

桜木町内会

福祉委員人数	20人	世帯数	655
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 6回
- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員
(対象者数20人)
- 目的 地域に安心を届けたい
- 実施事業

- ・福祉委員会（6回）

活動計画や地域情報のチェック、福祉マップの点検を行った。また、70歳以上の対象者の把握を行った。

- ・研修会、福祉フォーラム等に参加した。

- ・「ふれ愛だより」の発行（3回）

- 連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

- 事業成果

町内に届ける情報の集め方や自分達で学び、伝える方法が確認できた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間通じて
- 対象者 70歳以上の世帯

北栄南町内会

福祉委員人数	12人	世帯数	302
--------	-----	-----	-----

●目的 独り生活、デイサービス活用、福祉用具の紹介等

●実施事業

・高齢者世帯等の状況把握

福祉マップの点検及び、70歳以上のひとり世帯、日中ひとり世帯、二人とも70歳以上、その他の世帯を色分けし、世帯の把握を行った。(260人)

また、75歳以上の名簿作成を行った。(188人)

●事業成果

地域の生活者の状況を把握できた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 5回

●対象者 町内会長・民生委員児童委員・福祉委員
(対象者数21人)

●目的 地域の人たちとのふれあい

●実施事業

・敬老の日の「お祝い品」届け(188名)

・夏まつり(1回)

・子どももちつき(1回)

・介護予防等いきいき体操講習会(18名)

リズム体操サークルと共同で実施した。今後の計画のため北斗2丁目町内会、北桜コミセンでの講習会で勉強をする。

●事業成果

次年度にさらに良い活動ができるようにスタートラインに立てた。

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

●実施回数 1回

●対象者 町内会長・民生委員児童委員・福祉委員・役員

●実施事業

・相談を寄せられたことにリレー対応し、自宅に手すり等を設置した。(1件)

・対象世帯7件の除雪支援を行った。

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 18回

●対象者 町内会長・福祉委員・民生委員
児童委員・老人クラブ会長
(対象者数12人)

●目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有、資質向上

●実施事業

・福祉委員会(3回)

定期的な会合を開き、福祉事業の実施及び町内会・コミ協行事への協力・参加要領を協議・調整し、また要配慮者の情報交換、課題の共有に努めた。

・「町内会だより」発行、「救急カード」「災害時避難行動要支援者個別計画」の推進(4回)

サロンイベントの案内や、各種会合の機会を捉えて「救急カード」の周知・活用上の注意喚起を行うとともに、千歳市と連携して「災害時避難行動要支援者個別計画」の台帳整備を行った。

・北栄・新富福祉委員会役員会・研修会(3回)

北栄・新富の6町内会合同で福祉活動の協議・検討を行うとともに、民生委員児童委員とも情報交換・課題の共有を行った。

・福祉研修会参加(8回)

社協及び地域包括支援センターが実施した各種研修会へ参加し、福祉の現状・問題点及び解決法を学習した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社協・地域包括支援センター・市役所

●事業成果

福祉事業に対する地域の理解を深め、福祉委員及び民生・児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が概ね円滑に進められた。また、福祉委員の資質向上を図ることができた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者特に独居者・障がい者
(対象者数 180 人)

- 目的 要支援配慮世帯の状況把握

●実施事業

・高齢者名簿の更新

日常の声かけ、訪問活動により実態を把握した。福祉委員会やサロンのイベント、各種行事への参加案内時の訪問等の機会を活用して、高齢者等の状況を把握し、基礎資料の整備を行った。

- ・新規世帯の情報を入手し、会員獲得に努めた。
- ・災害時非難行動要支援者個別計画による実態把握の実施

希望した対象者の個別計画の申請手続き業務の実施を通じて、市と連携して要支援世帯の状況を把握した。(対象者 19 名)

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社協・市役所

●事業成果

要支援世帯の状況把握により、日常の見守りや声かけ、訪問が効果的に行われるとともに、災害時等の備えにもつながっている。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 39 回
- 対象者 高齢者・障がい者・子ども等
(対象者数 200 人)

- 目的 高齢者特に独居高齢者の孤立防止と地域のつながりづくり

●実施事業

・介護予防サロン（35 回）

介護予防体操、おしゃべり、食事会を実施し、毎回 20 名以上が参加した。

・ふれあいサロン（1 回）

食事会、歌声喫茶、ビンゴ大会等を実施し、65 歳以上の 44 名が参加し、福祉委員による手料理が好評だった。

・お楽しみ会（1 回）

北栄・新富の 6 町内会合同による高齢者の交流会で余興や食事会等を実施した。

・三世代交流餅つき大会

親子、孫、役員が一体となり餅つきを体験し、終了後は雑煮等で会食を行うとともに、ひとり暮らしの高齢者へ「餅パック」の宅配を行った。(宅配数 38 名)

・敬老会（1 回）

70 歳以上の高齢者に対し、福祉委員が案内して参加者を掌握、当日の不参加者 51 名に「記念品」を宅配した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社協・地域包括支援センター

●事業成果

ひとり暮らし高齢者等の安否確認や健康状態の把握ができた。また、福祉委員や高齢者間の交流ができ、地域のつながりづくりに役立った。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者特に独居者・障がい者
(対象者数 180 人)

- 目的 高齢者特に独居高齢者の孤立防止と地域のつながりづくり

●実施事業

・見守り・声かけ訪問活動

ひとり暮らし高齢者世帯等に対して、日常的な見守りや定期・随意的な声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。

・ひとり暮らし高齢者等へのお餅セットや記念品宅配（2 回）

三世代交流餅つき大会でひとり暮らしの高齢者に対し、お餅セットを 38 名に宅配し、町内の敬老会への不参加者 51 名に記念品を宅配した。

・独居高齢者等の除雪支援活動

独居高齢者及び障がい者の 9 世帯を厳選して、福祉委員 6 名により除雪支援を行った。

・災害時避難行動要支援者の個別計画の推進

市と連携し、申請希望者の手続き業務を行うな

どにより要支援世帯の状況を把握した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社協・市役所

●事業成果

特にひとり暮らし高齢者等の孤立死を未然に防止でき、安心・安全な地域づくりに役立った。



北栄東町内会

福祉委員人数	9人	世帯数	235
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 10回
- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員
(対象者数12人)
- 目的 福祉委員の資質の向上、委員間の情報交換

●実施事業

・福祉委員会

各委員の担当地区の状況を委員間で情報交換し、必要により対応、処置を講じた。

北新コミュニティ等の機関・団体等の行う事業に積極的に参加、福祉に関する知識及び能力の向上に努めた。

●事業成果

委員の知識向上と能力を高揚することができた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年度初めに1回、変更が5回
- 対象者 高齢者150名・単身者50名
- 目的 高齢者の把握
- 実施事業

・高齢者名簿の作成

委員の活動資料とするため年度初めに65歳以上の高齢者の地区別に区分したものを作成した。

・一人暮らし、高齢者名簿の作成

重点指向の資料とするため高齢者の中で、ひとり暮らしの方の名簿を作成した。

・高齢者住居の地図作成

訪問を容易にするために地図を作成した。

●事業成果

委員の知識向上と能力を高揚することができた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 48回
- 対象者 高齢者・子ども（親）
(対象者数110人)
- 目的 相互に親睦を深め、孤独感の解消
- 実施事業

・ひとり暮らし高齢者交流会

ひとり暮らし高齢者を招き、食事をしながら会話し、唄と余興を楽しんだ。

・敬老会（1回）

70歳以上の高齢者を招いて、食事を提供し、余興、カラオケを楽しみ互いの交流を深めた。

・カラオケサロン（毎週水曜日）

13時から15時の2時間お茶を飲みながら、カラオケを楽しんだ。

・餅つき（1回）

餅つきを通じて親子と高齢者の三世代交流に成果があった。

●事業成果

交流を深め、孤独感の解消に成果があった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通して実施

●対象者 高齢者・障がい者

●目的 孤立化の防止

●実施事業

・見守り、声かけ訪問

日常的に生活状況を把握し、その状況によって訪問し安否の確認を行った。

●事業成果

孤独死の防止に役立った。

新富西町内会

福祉委員人数	4人	世帯数	180
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 1回

●対象者 町内会全員

●目的 救急カードの更新と指導

●実施事業

・救急カードの更新

内容の再確認、転入者への周知を回覧により呼びかけ、最新化を図った。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 3回

●対象者 60歳以上高齢者

●目的 各催事にて町内会・近隣との交流活動の活性化

●実施事業

・サロン（2回、60歳以上）

福祉委員の手作りの軽食を準備し、ゲームや室内での軽い運動をして交流を深めるとともに、安否の再確認をした。

・お楽しみ会（1回、70歳以上、65歳以上独居）

北新コミ主催のお楽しみ会へ参加及び支援を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

サロン会への参加が増えなかったため、老人クラブとの共催で実施すると参加者が増加した。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通して実施

●対象者 高齢者・居独者（対象者数12人）

●目的 孤立防止と安否確認

●実施事業

・声かけ

ひとり暮らし世帯や高齢者世帯に対して定期的な声かけや安否確認に努めている。

また、近隣への協力も促している。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

今のところ大事に至っていない。

新富東町内会

福祉委員人数	15人	世帯数	300
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 11回

●対象者 福祉委員・民生委員児童委員・役員等（対象者数55人）

●目的 福祉委員会・総会において打合せ

●実施事業

・福祉委員会・総会

福祉委員会・総会において事業報告・事業計画及び収支決算報告・収支予算等の検討を行った。

また、総会において各委員に啓発活動、在宅福祉サービス、ひとり暮らしの方の見守り強化を依頼した。

・北新コミ協との合同研修

北新地区、6町内会の民生委員と福祉委員の総会を含めて各町内会の意見交換を行うとともに親睦を図り交流を深めた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所・町内会役員等

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員との連携強化につながり地域福祉活動が円滑に進められた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 4回

●対象者 ひとり暮らし・70歳以上高齢者
(対象者数 80人)

●目的 ふれあい交流、親睦と安否確認

●実施事業

・観梅会日帰りバス旅行（1回）

平岡梅林公園に日帰りバス旅行を実施し、35人の参加があった。

・北新コミお楽しみ会（1回）

北新コミ協会長あいさつの後、3団体の余興があり、昼食を取りながらカラオケや踊りで大いに盛り上った。

・ふれあい交流会（2回）

出前講座で「百歳いきいき体操」の指導の後、昼食を取りながら会話を楽しんだ。

また、出前講座で「太極拳」を体験し、その後、カラオケ等で楽しんだ。

・カラオケサロン（3回）

9月にカラオケ同好会を発足し、週1回実施しているが、サロンとしても月1回程度、活動することになった。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・町内会長・役員・地域包括支援センター・カラオケ同好会

●事業成果

昨年に続き、日帰りバス旅行は好評であった。百歳いきいき体操は、体力づくりに適していることから、町内会でも指導員を2名養成し、今年度から取り入れることになった。

お楽しみ会では、ひとり暮らし・高齢者等の安否確認や健康状態の把握ができ、また、ふれあい、語らいを楽しんだ。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 1回

●対象者 ひとり暮らし（対象者数 25名）

●目的 ふれあい交流、見守りと安否確認

●実施事業

・歳末友愛宅配食訪問（12月）

例年の事業として年末に実施しており、各福祉委員が担当地区世帯に、もち・果物・お菓子等を持参し、安否確認をしながら届けている。

●連携・協力機関及び団体

福祉委員

●事業成果

いつも、大変喜ばれ感謝される。

新富中町内会

福祉委員人数	11人	世帯数	304
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 7回

●対象者 福祉委員・民生委員児童委員
(対象者数 14名)

●目的 福祉活動の問題、課題を協議、検討及び見守り世帯に関する情報交換と共有、委員の資質の向上を図る。

●実施事業

・福祉、民生委員児童委員合同会議（7回）

サロン等の年度計画の策定。調査活動及び交流活動の内容、回数、在宅福祉サービス活動の内容。

町内を1から6区に分け各区に担当者2名を配置し、訪問活動等は身分証明書及び町内会福祉委員専用のジャンパーを着用し、2名以上で実施した。

北新コミュニティ協議会6町内会福祉部との連携を図り、情報交換等を実施した。

社会福祉協議会主催、その他各種講習会、研修会に積極的に参加し、福祉活動及び地域コミュニ

ティのあり方の参考にした。

●事業成果

訪問活動を複数で行動することにより訪問先から安心感、信頼感を得ることができて、会話も進み、情報の入手を容易にした。

多くの情報を得て、共通の課題を掘下げ、話し合うことによって活動の充実を図れた。講習会、研修会に参加し、参考となる情報及び福祉に関わる課題の解決方法を得た。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 全世帯・特に高齢者・障がい者・子ども
- 目的 会員の現状及び要支援世帯（者）の状況把握。緊急対応。

●実施事業

・「救急カード」の更新及び確認作業

「救急カード」導入4年が経過し、確認作業を継続し更新の呼びかけを行うとともに会員の近況の変化の把握に努めた。

・「災害時避難行動要支援者」及び「地域支援者」の状況把握及び確認。提出書類の作成。

「要支援者」の確認においては、なぜ「要支援者」なのかに重点を置き作業を進めた。また、制度を知らない方に制度、申請方法の説明を行った。

・新たな入居世帯（者）の状況把握及び住宅管理人との連携。「救急カード」の説明及び普及

・「町内全世帯台帳」の作成及び更新

●事業成果

「救急カード」は、近況の変化を把握するため、仲介役になった。また、「要支援者」の事情、制度等の理解を得ることができ、「地域支援者」の増加につながった。

これらの情報をもとに災害時等の重要な参考資料となる台帳の作成及び更新に役立った。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 年間を通じて実施

- 対象者 全会員
- 目的 地域のコミュニティを構築し、高齢者の孤立防止と仲間をつくる。同じような境遇の人達で理解し合い、友好を築き深める。子ども達と積極的に交流しながら見守る。

●実施事業

・春の町内大掃除（5月、参加98名）

冬季間に放置されたゴミを子ども達と拾いながらコミュニケーションを図った。

・研修旅行（6月、10月）

会員の親睦、慰労を目的として、春（日帰り、参加30名）と秋（1泊、参加26名）の研修旅行を実施した。

・北新コミ協「お楽しみ会」（7月、参加38名）

一人暮らし及び高齢者が他の町内会の方々と懇談、飲食、余興、カラオケ等で交流を深めた。

・ラジオ体操及び夏祭り（7月、8月）

子どもたちと大人のふれあい、交流、親睦を深めるため夏祭りでは、ヨーヨーすくい、スイカ割り、バザールや実行委員手作りの焼き鳥、焼きそば、おでん、焼きいか等で賑わい、ビンゴゲームで終了した。

・敬老会（9月、参加34名）

65歳以上のひとり暮らしと70歳以上の高齢者を対象に高齢者を敬い、健康と長寿を願い、祝宴、語らい、カラオケ大会等を実施した。

・新年交礼会（1月）

全会員を対象に主な事業の紹介、祝宴、カラオケ等で親睦を深め、心新たに新年を祝うことができた。

・ひなまつり（3月）

女性と子どものふれあいを目的とし、童謡や懐かしい歌の合唱。輪投げ等の遊戯、軽食などで交流を深めた。

・サロン「気楽に行こう会」（5月、8月）

65歳以上のひとり暮らしと70歳以上の高齢者を対象に、ふれあいの場として開催、近況及び救急カードの更新等の確認を行った。

対象者宅を訪問し、会への参加の有無を確認、

また、参加できない方の最近の状況を確認した。

・そばで昼食会（10月）

今年度の新規事業でサロンと同様に開催、千歳市介護予防センターによる「いきいき百歳体操」の出前講座と昼食に元そば職人のそばをいただいた。

●事業成果

春の大掃除では参加人数が多く、目的は達成された。研修旅行では、高齢者の方をヘルプする人、される人もお互いに笑顔で打ち解けて行動し、温泉につかり、心も体も癒していた。お楽しみ会では、他町内会の方々との交流を大いに持てた。ラジオ体操及び夏祭りでは、子どもと大人のふれあい、交流の場として多いに効果があった。

敬老会では、健康とふれあいの大切さを再確認できた。ひなまつりは、気楽な雰囲気の中で遊戯は盛り上がった。サロンでは、直接訪問することで、最近の状況を確認することができ、また参加の呼びかけが容易になった。

新富北町内会

福祉委員人数	18人	世帯数	286
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 5回
- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員・町内会役員
(対象者数 30人)
- 目的 敬愛福祉サービス協働事業等活動の連絡調整
- 実施事業
・福祉委員会
福祉活動に関する福祉委員相互の意思の疎通を図り、事業の円滑な実施に資するとともに要援護者の生活環境に関する情報を交換し、特定の用援護者の見守り継続と福祉情報を共有した。
- 事業成果
福祉委員相互の認識をそろえ、円滑な事業推進

に資するとともに町内要援護者に関する情報を共有し、福祉委員の意識の向上を図った。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 204人)
- 目的 要支援世帯の状況把握
- 実施事業
・高齢者名簿、特定要援護者の災害誘導「サポート」等現況早見表の作成（更新）
独居高齢者、特定要援護者世帯等の恒常的に支援が必要な現況を把握するため高齢者名簿、特定要援護者の災害誘導「サポート」等現況早見表を作成（更新）し、福祉委員による見守りや声かけに活用した。
- 事業成果
定期的な更新を実施し、福祉委員による見守り活動等に資するとともに災害発生時の特定要援護者の支援について認識を統一した。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 53回
- 対象者 高齢者（対象者数 162人）
- 目的 高齢者の交流機会の継続的促進
- 実施事業
・敬老感謝のつどい（1回）
80歳以上の高齢者に記念品を贈呈するとともに会食余興で親睦を深めた。
- ・ひとり暮らし高齢者交流会
独居高齢者の交流機会をつくり、女性部手作りの料理で健康と長寿を祝った。
- ・ふれあいサロン
カラオケ以外の懇談・囲碁・将棋等で親交を深めた。
- ・いきいき百歳体操（新規）
虚弱にならない・元気になる・自立できるを目標に月4回実施し、体力の維持・回復を図った。
- 事業成果

閉じこもりがちな高齢者に外出の機会を与え、他の高齢者等と交流し孤立を防止するとともに相互の親交を深めることができた。

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 79回
- 対象者 除雪困難世帯(5世帯)
- 目的 除雪困難世帯の日常生活支援
- 実施事業
 - ・除雪困難世帯・指定避難所の除雪作業支援

民生委員及び高齢者名簿から除雪困難世帯・指定避難所の除雪を支援した。
- 事業成果

例年に比し、降雪日数が減少したため、除雪支援は少なかったが、対象世帯から感謝された。

信濃1丁目町内会

福祉委員人数	5人	世帯数	120
--------	----	-----	-----

1 啓発活動(知る・知らせる)

- 実施回数 3回
- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員
町内会役員(対象者数12人)
- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換
- 実施事業
 - ・福祉委員会(3回)

福祉活動の協議、見守り世帯等に関する(特にひとり暮らし)情報交換、課題の共有を行った。
- 連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・地域包括支援センター
- 事業成果

福祉委員・民生委員児童委員・町内会役員同士の連携強化につながり、活動が円滑に進んだ。

2 交流活動(ふれあい・語り)

- 実施回数 2回
- 対象者 町内会員
- 目的 親睦交流会
- 実施事業
 - ・交流会(1回)

女性部の支援を得て、高齢者から子どもまで、クイズ、ビンゴ、カラオケ等で交流会を実施し、楽しい時間を過ごした。

 - ・日帰り旅行(1回)

びらとり温泉(ゆから)の入浴と食事等で参加者同士の交流を深めた。
- 連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員
- 事業成果

高齢者やひとり暮らしの方の安否確認や健康状態の把握、また、参加者同士の交流につながった。

3 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者世帯、ひとり暮らし世帯
(対象者数65人)
- 目的 地域のささえあい
- 実施事業
 - ・見守り、声かけ訪問活動

ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯等に対して、オレオレ詐欺等の被害にあわないよう声かけ訪問を行い、安否確認と健康状況の把握に努めた。

 - ・生活支援活動(4世帯、12回)

ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯等に対して安否確認と生活道路の確保のため除雪支援を行った。
- 連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所
- 事業成果

ひとり暮らしの高齢者・高齢者世帯の安否確認を行うことができた。

支援者も高齢になってきているため、負担が課題になっている。

信濃 2 丁目町内会

福祉委員人数	12 人	世帯数	268
--------	------	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 6 回
- 対象者 町内会会長・役員・福祉委員
民生委員児童委員
- 目的 役員間の情報交換、課題等の共有・資質向上

●実施事業

・福祉委員会

要支援高齢者に関する情報交換、福祉活動の協議・検討を行い、現状把握のため必要に応じ訪問・声かけをし、異変の早期発見の重要性を確認した。

・福祉研修会へ参加

社会福祉協議会・市町内会連合会が主催する各種研修会に参加し、資質向上に努めた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

役員間の連携強化により情報収集が容易になり、福祉活動が円滑に進められた。

各種研修会の講話は、問題点・解決法など知見を深められ資質向上につながった。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 通年
- 対象者 高齢者・障がい者
- 目的 ひとり暮らし高齢者・要支援高齢者の状況把握

●実施事業

・要支援世帯台帳の作成（更新）

単身高齢者、要支援高齢者、障がい者の状況把握のため「要支援世帯台帳」を作成（更新）し、必要に応じ訪問、声かけを行った。

・75 歳以上全員の台帳作成（更新）（対象者 123 名）

新規加入者を加えた、75 歳以上の台帳を更新し、

特に健康状態に重点を置きながら現況把握に努めた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

福祉委員は自己担当地区の住民と相互に信頼が深まり、住民から提供された情報が有効に活用されるなど福祉活動が円滑に機能した。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 3 回
- 対象者 全世帯・75 歳以上高齢者
- 目的 仲間づくり・支え合い・引きこもり防止

●実施事業

・ふれあい交流会（2 回）

前段 1 時間は、出前講座を実施し、後段 1 時間は懇親会で親睦を深めた。

1 回目：「AED・心肺蘇生法」60 名参加

2 回目：北斗中音楽部（22 名）とリコーダー演奏 72 名参加

・敬老会（1 回）

75 歳以上の高齢者と福祉委員ほか関係役員が 61 名参加し、健康と長寿を祝い、南京玉すだれを鑑賞しながら、くつろいだ。欠席者には赤飯を宅配した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

福祉委員が案内状を配る際、ひとり暮らし高齢者、要援護高齢者に対して、手渡しで配り、会話することで状況把握ができた。

また、仲間づくりの機会を提供することで、「孤立しない、させない」を目指した地域づくりにつながった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 通年
- 対象者 要支援高齢者・障がい者

●目的 孤立防止、支え合い、生活不安の軽減

●実施事業

・見守り、声かけ訪問

ひとり暮らし高齢者・要支援高齢者に対し、見守りや声かけ訪問し、孤立防止や健康状態、困りごとなど会話しながら状況把握に努めた。

また、仲間づくりのためにも町内会各種行事に積極的に参加するよう促した。

・除雪支援

身体的な理由により除雪労力の確保が困難な8世帯に対し、除雪支援を行い生活不安の軽減を図った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・町内会役員

●事業成果

声かけ訪問を行い、「孤立しない、させない」を目指した環境づくりにつながった。除雪支援では、対象者の生活不安の軽減につながった。

信濃3丁目町内会

福祉委員人数	12人	世帯数	305
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 2回

●対象者 福祉委員（対象者数12人）

●目的 独居高齢者の近況（現況）の把握

●実施事業

・福祉委員会（2回）

対面訪問者による近況情報の報告、避難行動要支援者名簿作成会議の実施及び「災害時避難行動要支援者名簿」個別計画を推進した。

・救急カード整備

福祉部・福祉委員が主体となり、会員・家族の60歳以上を対象に実施し、個人情報漏洩防止に努めた。記入後は所定のケースに入れて玄関など見やすい場所に設置した。

●事業成果

福祉委員会の情報交換、福祉マップの修正を実施した。避難行動要支援者名簿の該当者は28名、救急カード賛同者は267名（27年度は、9名）であった。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 2回

●対象者 15名

●目的 独居高齢者の近況（現況）の把握

●実施事業

・調査活動（福祉委員会による情報共有）

各委員による対象者の近況発表による情報の共有と対象者名簿の見直し（福祉マップの修正）を行った。また、避難行動要支援者名簿の作成、除雪支援の調査・計画及び救急カード整備プランを計画・実施した。

●事業成果

対象者の近況を把握した福祉マップの修正を行った。救急カードの整備は60歳以上は完了し、「個別計画台帳」の4名を登録抹消し修正を行った。除雪支援は感謝された。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 町内会行事による

●対象者 招待者137名

●目的 祝賀会（長寿を祝う会として）

●実施事業

・敬老会（9月）

町内会の75歳以上高齢者に招待状を配布し、57名の参加で芸能発表・カラオケ・ビンゴゲーム等を実施して、女性役員の手作り料理でもてなした。参加できなかった80名にはお祝いの「紅白まんじゅう」を配布した。

・ふれあい餅つき大会（12月）

高齢者・子どもを対象にクリスマス会を兼ねて実施し、参加できない高齢独居者（24名）に注意書きを添えて「餅」を届けた。

・お楽しみサロン（年10回）

信濃4丁目町内会

福祉委員人数	10人	世帯数	185
--------	-----	-----	-----

町内会自前サロンでカラオケ・各種ゲーム・麻雀・カード遊び等を実施し、出前サロンでは千歳市の出前講座や赤十字芸能奉仕団等にお願ひし、各サロンに軽食(昼食)を準備した。

・パークゴルフ(4回)

6月～10月(8月除く)に実施し、延べ64名の参加があった。

●事業成果

敬老会参加者は招待者135名中57名の参加があり盛会裡に終了した。ふれあい餅つき・子どもクリスマス会は大勢の参加で賑わい、お楽しみサロンは町内の恒例となり、参加者は毎回楽しみにしている。出前講座の「千歳千年そばの会」は、好評であり、次回も要望があった。パークゴルフは月1回であったが参加者は楽しみにしている。

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

●実施回数 15回(降雪時を基準)

●対象者 7名

●目的 特に高齢者の災害時等避難経路確保・見守り

●実施事業

・独居高齢者宅調査(防災・安全)

独居高齢者宅(障がい者を含む)の要除雪援護調査と除雪支援計画を実施した。降雪時の通路の確保を6世帯に対して15名の協力者が見守りも兼ねて実施した。

また、ふれあい餅つき大会に参加できない独居高齢者に餅を配布し、近況を把握した。

・情報収集

除雪実施時に近況の掌握と日常の見守りの声かけ運動を実施した。

●事業成果

要除雪援護者6名への除雪支援を15名で実施し、要除雪援護者から感謝された。年末の「餅」の配布は喜ばれた。

1 啓発活動(知る・知らせる)

●実施回数 15回

●対象者 町内会長・役員・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数10人)

●目的 福祉委員活動における役員の情報交換・共有、資質向上

●実施事業

・福祉委員(部)会同(15回)

高齢者の実態把握と問題点の解明を図り、福祉活動の協議・検討及び高齢者世帯に対する情報の交換、課題の共有を行った。連絡事項、町内行事の先取りにより円滑化を図った。

・福祉研修会(2回)

地域福祉の研修会に出席し、福祉活動に対する関心が高まった。9月17日サロン実践活動について発表した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・市役所

●事業成果

福祉委員同士の連携強化と情報の共有、福祉活動が円滑に進められ、福祉に関する知識の向上を図った。また、「サロン便り」で情報提供を行った。

2 調査活動(実態把握)

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者

●目的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

・要支援台帳の作成

日常的な支援が必要な高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握するため、要支援世帯台帳を作成し、必要に応じて見守りや声かけを行った。

・福祉マップの作成(更新)

高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握し、日常の見守りや非常時に備えた福祉マップの更新を行った。

・救急カード交付台帳の作成（更新）

高齢者を見守りと声かけをスムーズに行うことができた。

・避難カードの確認

避難行動要支援者名簿の共有をした。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

要支援世帯等の状況把握、日常の見守りや声かけ訪問が円滑に行われるとともに災害時の備えにもつながった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 38回

●対象者 65歳以上

●目的 高齢者の孤立防止と友達づくり
地域の絆づくり

●実施事業

・ふれあいサロン（16回 毎月1・3火曜日）

サロン便り（陽だまりサロン）を3回発行した。茶話会を中心にゲーム・レクリエーション、食事会、健康づくりを実施した。また、野外パーティー、子どもと短冊作りを実施し、延べ237名の参加があった。

・幸齢者の集い（1回）

手作り料理は参加者からは好評で、参加者の笑顔に元気をもらった。

・日帰り旅行（1回）

名水亭で温泉入浴、ゲーム、食事等で日常生活から脱け出しくつろいだ。

・カラオケ同好会（毎月第2・第4火曜日、20回）

歌を中心としてゲームや食事会を連合会館で実施した。

・ラジオ体操（5月1日～10月31日）

健康づくりと地域のつながりに努め、夏休み期間中は65名（平均30名）の参加があり、他町内会からの参加もあり非常に好評なので、継続的

に実施する。最終日、甘酒で次年度の再会を誓った。

・子どもと高齢者（見守り隊）の交流会

高齢者（見守り隊）・子ども・保護者によるクリスマスリース作りや見守り隊に感謝の気持ちを伝えるため、新1年生と6年生の歓迎食事会を実施した。また、見守り隊による交通安全教育や千歳市シニアリーダーによるゲームや手品を実施し、保護者同士の交流及び町内行事の理解を得ることができ、大変好評で引き続き実施したい。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・市役所

●事業成果

参加者同士の交流により友達づくりにつながった。また、高齢者の孤立防止につながった。

健康増進と地域の絆作りに貢献し、夏休み期間中は高齢者と子供たちの交流につながった。

町内の行事に参加する機会の少ない若い保護者の参加により参加者同士の交流に寄与した。

また、80歳以上独居者に年末支援（プレゼント）を行った。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者・高齢者を介護する家族

●目的 コミュニケーションを図り逐次会話を通じ生活環境、健康状態を把握するとともに要援護者の精神的空洞化を防止する。

●実施事業

・ひとり暮らし高齢者

ひとり暮らし高齢者世帯に対して、日常の見守りや声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めるとともに除雪支援を実施した。

80歳以上独居者に年末支援（プレゼント）を実施した。

・80歳以上の高齢者

安否確認や心配ごとの相談に努めるとともに82名に誕生日プレゼントを実施した。

・高齢者を介護する家族

家族との会話を重点に生活状況確認を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

逐次会話を通じ生活環境・健康状況の確認と高齢者の孤立防止に努めた。また、参加者同志の交流により、近所付き合いのつながりに貢献した。

富士町内会

福祉委員人数	24人	世帯数	505
--------	-----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通して

●対象者 独居・老世帯・障がい者
(対象者数 94人)

●目的 安否確認と要支援世帯の状況把握と支援

●実施事業

・要支援世帯台帳の更新

支援の必要な高齢者世帯や障がい者の状況把握と必要に応じ声掛けを行った。冬期の見守りでは「つきたての餅」等を持参し訪問、状況の把握に役立てた。民生委員のリードで福祉委員が担当を決め、細やかにフォローしている。老人クラブより情報を得るため、積極的に老人クラブに入会している。

●事業成果

要支援世帯の把握により、見守り訪問が円滑に進められるとともに災害時の備え、訓練の報告等理解を得やすくなった。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 2回

●対象者 子どもと両親・高齢者

●目的 高齢者のふれあい交流、・三世代交流、高齢者安否訪問

●実施事業

・5月「いも植え」(45名)

町内会会館裏にジャガイモ植えを実施した。

・消火器訓練(対象 子ども)

消防署の指導のもと、消火器訓練を実施した。

・ふれあい交流

「ニッカ見学」を実施、高齢者の引きこもり対策とコミュニケーション作りを図った。車いす利用者2名の参加があり、介助等会員に支えられ大感謝。

・収穫祭(90名)

春先に植えたジャガイモを参加者で収穫し、福祉部員が作ったカレーライスを全員で試食した。食後は、会館内でディズニー映画を鑑賞した。

・長寿の祝い

参加者81名、長寿を祝い、舞踊や北斗中リコーダー部演奏など楽しみながら会員の親睦交流と連携を図った。本年は、初めての参加者があり、今後もロコミを期待したい。

・文化芸能発表会

カラオケ、民謡、フラダンス、絵画の展示など各クラブが日頃の成果を発表し、大変楽しんでいただきました。

・餅つき交流会

高齢者が子どもたちへ餅の丸め方を教えるなどして三世代の交流ができた。また、安否確認事業として、老世帯、独居高齢者へつきたての餅を配り喜ばれた。

●事業成果

収穫祭や餅つき大会は、会員や子どもの参加も多く世代交流ができた。

すべてが会員に喜ばれ、待たれる事業となっている。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 1回

●対象者 独居29名・老世帯68世帯
(対象者数97人)

●目的 安否確認とコミュニケーション作り

●実施事業

・温もり弁当配布事業

福祉部員による独居、老世帯へ配布時間等、事前フォローを行い、留守の無いよう配慮した。担当者打合せ、緊急通報等のチェックを行い、独居、老世帯に12月はずきたて餅を持参しご機嫌伺いをし、2月は甘酒とミカンを持参して健康調査を実施した。

●事業成果

喜ばれ、待たれる事業となっている。

長都駅前町内会

福祉委員人数	14人	世帯数	440
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 12回

●対象者 役員・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数30人)

●目的 福祉活動における役員間の情報交換及び資質向上

●実施事業

・福祉委員会

福祉活動の協議・検討、高齢者世帯、障がい者世帯に関する情報交換を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

福祉委員及び民生委員児童委員とのつながりが強くなり、福祉活動が円滑に進められ、福祉委員の資質向上につながった。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者
(対象者数80人)

●目的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

・福祉マップの作成(更新)

高齢者世帯や障がい者世帯、ひとり暮らし高齢者等の状況を把握するため福祉マップを作成した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

日常の見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 3回

●対象者 高齢者・障がい者・子ども
(対象者数100人)

●目的 高齢者の仲間づくり、地域のつながりづくり

●実施事業

・日帰り旅行（年1回）

防災学習（札幌市民防災センター）北海道開拓の村を見学した。参加者、福祉委員、民生委員児童委員との交流を図り、併せて高齢者世帯の現状把握につながった。

・夏祭り交流会（年1回）

町内会の夏祭り(盆踊り大会)に、高齢者と子ども、町内会員との交流会を実施してふれあいを図った。

・茶話会（年1回）

食事会や町内会員のゲームやカラオケ、いきいき百歳体操を行い、高齢者との交流を図った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

ひとり暮らし高齢者等の安否確認や心配ごとの把握につながり、町内会員の交流や近隣のつながりづくりに役立った。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 80 人)
- 目的 地域の支え合い・孤立防止につながる
- 実施事業
 - ・見守り、声かけ訪問活動
ひとり暮らし高齢者・障がい者世帯に対して、見守りや声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。
 - ・生活支援活動
ひとり暮らし高齢者及び障がい者世帯の状況把握に努め、相談ごとや草刈等の生活支援を行った。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・町内会役員
- 事業成果
民生委員児童委員、町内役員にも協力をいただき、生活上困りごとに対する相談や細やかな支援により安心して生活できる環境づくりにつながった。

静和町内会

福祉委員人数	5 人	世帯数	102
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 12 回
- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員
- 目的 福祉委員活動における情報交換・共有
- 実施事業
 - ・福祉委員会
福祉活動の協議・検討及び情報交換を行った。
 - ・福祉通信「元気だより」の発行
福祉委員・民生委員児童委員の紹介、福祉情報・行事等のスナップ写真の掲載し周知を図った。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化となり、福祉活動がスムーズに進められ、福祉活動に対する意識向上につながった。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通して実施
- 対象者 65 歳以上の高齢者
(対象者数 75 人)
- 目的 高齢者世帯の把握
- 実施事業
 - ・高齢者名簿の作成
65 歳以上の高齢世帯を把握し、必要に応じて見守りや声かけを行った。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果
高齢者世帯の状況把握により、見守り、声かけ訪問が円滑に行われるようになった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 7 回
- 対象者 65 歳以上の高齢者
サロンは町内会全員
(対象者数 75)
- 目的 孤立化防止のための親睦と交流
地域のつながりづくり
- 実施事業
 - ・日帰りバス旅行
真狩村「湧水の里」、道の駅「名水の郷京極名水プラザ」、余市ニッカウキスキー工場等の見学を行った。
 - ・近郊バス見学ツアー
千歳浄水場、支笏湖ビジターセンター、鮭の里ふれあい広場への見学を行った。
 - ・町内会と合同による新年会
 - ・春のつどい
ボウリング大会を実施し、ゲーム後は会館で会食を行った。
 - ・ふれあいサロン
おしゃべり、レクリエーション、軽食などで過ごした。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

近郊見学ツアーは、初めての試みとして子ども会と合同で行い、和やかな雰囲気での交流ができた。ふれあいサロンは、若い世代や子どもとの交流により、近隣のつながりづくりに役だった。

3 在宅福祉サービス活動(支え合い)

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 65歳以上の高齢者
(対象者数 75人)

●目的 安否確認と孤立防止

●実施事業

・見守り、声かけ訪問活動

年間を通じて行事案内の配布時に訪問し、安否確認と現況把握に努めた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

会話を通じ健康状況の確認ができ、孤立防止につながった。

あずさ町内会

福祉委員人数	12人	世帯数	630
--------	-----	-----	-----

1 調査活動(実態把握)

●実施回数 通年

●対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 80人)

●目的 高齢者(独居)と障がい者の把握

●実施事業

・独居高齢者、障がい者の生活状況の把握

町内に居住する高齢者及び障がい者の掌握と連絡先台帳の作成を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

独居世帯の状況把握により、声かけ及び町内会活動の参加が多くなった。

2 交流活動(ふれあい・語らい)

●実施回数 3回

●対象者 高齢者・町内会員

●目的 高齢者の健康づくりと交流

●実施事業

・ボウリング大会

市内ボウリング場において、ボウリング大会の実施。大人 27名、子ども 13名の参加により、会員相互の交流を楽しんだ。

・敬老会(年1回)

70歳以上の高齢者を招いて食事会やゲーム、カラオケ等で楽しく過ごしてもらい、参加者間の交流と町内会役員との交流を行った。

・パークゴルフ大会

市内のパークゴルフ場において、パークゴルフ大会を実施。参加者 26名、会員相互の交流と健康保持及び親睦が達成された。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・地域包括支援センター

●事業成果

会員相互の交流と高齢者の健康状況の把握及び近況確認ができた。

敬老会では参加できなかった方の所在確認ができた。

富丘1丁目南町内会

福祉委員人数	2人	世帯数	88
--------	----	-----	----

1 在宅福祉サービス活動(支え合い)

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者(対象者数 9人)

●目的 被支援者との日常の意思疎通及び信頼関係の保持

●実施事業

・会食

ひとり暮らし高齢者との会食の機会提供や給食提供による交流を実施した。

・安否確認

ひとり暮らし高齢者・障がい者への声かけと安否確認を実施した。

・危険予防

氷柱などの危害予防への気配りを行った。

・除雪支援活動

冬期間避難経路維持のため、除雪支援活動及び支援担当者確保した。

・実態調査（新規）

高齢者世帯の生活状況等、実態調査を行った。

●事業成果

福祉部及び女性部の委員が定期的に被支援者を訪問したことにより、問題発生時その都度、解決できており、特に大きな問題もなく順調に推移した。

富丘1丁目町内会

福祉委員人数	10人	世帯数	280
--------	-----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

●実施回数 該当者に対して年2～3回

●対象者 ひとり暮らし高齢者
障がい者世帯（対象数25世帯）

●目的 該当世帯の把握と支援

●実施事業

・訪問、調査

福祉委員が該当世帯を随時訪問し、異常の有無を把握した。また、非常時に備えて救助マップを作成した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

該当世帯の安否確認や健康状態、心配ごとなどの把握につながり、相談ごとなどについては民生

委員の協力を得て行うようにした。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 2回

●対象者 60歳以上高齢者（対象者数30人）
80歳、88歳、90歳の高齢者
（対象者数9人）

●目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり
長寿のお祝いと近況把握

●実施事業

・傘寿の祝い

80歳の高齢者（8人）を対象とし、担当福祉委員が訪問し、祝文と祝品を直接手渡した。長寿を祝うと共に近況を把握した。

・日帰り旅行（南幌温泉）

高齢者を一日温泉旅行に招待した。

・敬老会

高齢者（75歳以上）を招待し、長寿を祝い親睦を深め合った。

●連携・協力機関及び団体

町内会役員

●事業成果

該当する高齢者の安否確認や健康状態の把握につながった。参加者同士の交流・親睦につながり、高齢者の閉じこもり防止に役立った。

富丘2丁目町内会

福祉委員人数	9人	世帯数	250
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 9回

●対象者 町内会長・役員・福祉委員
民生委員児童委員
（対象者数14人）

●目的 福祉委員会における役員間の情報交換・共有・資質向上

●実施事業

・福祉委員会

福祉活動事業に関する年間計画の作成、協議検討。行事への参加者の啓発と実施成果の検証を行った。また、対象世帯に対する情報の共有と活動上の問題点等の情報交換を実施し、活動を容易にすると共に対象者とのふれあいに繋げた。

・研修会等への参加

福祉に関する研修会等に参加し、資質の研鑽に努めた。

・「町内会だより」発行（年6回）

「町内会だより」を活用して、福祉関連行事の案内及び実施結果を掲載した。また、ひとり暮らし高齢者等宅を戸別訪問し、対象となる行事案内との説明と参加の勧誘を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会

●事業成果

福祉に関する啓発活動は町内会及び福祉担当委員、福祉委員、民生委員児童委員が密接に連携し、地域に居住する人達の理解と協力を得ながら継続的な実践に繋げた。

各種研修会への参加を奨励し資質の向上に努め、地域福祉活動の活性化に繋げた。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 ひとり暮らし高齢者・障がい者等
（対象者数 27 人）

●目的 対象者世帯の把握

●実施事業

・対象者世帯一覧表の修正

ひとり暮らし高齢者等世帯の転居、新たな対象者となった世帯の現状把握、最新状況を福祉委員へ提供し、見守り等の福祉活動を容易にした。

・福祉マップの更新（修正）

対象世帯の増減を町内会住宅図にプロットし、町内会関係役員及び福祉委員等に配布し、日常の福祉活動や除雪支援に活用した。また、災害時等にも備えた。

・生活支援等の調査

訪問による日常生活の変化や新たに支援を必要とする世帯の確認、除雪支援の継続の有無等を把握するため民生委員児童委員と連携を取りつつ実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

対象世帯の状況を常に把握するため、訪問による見守り、声かけや地域近隣住人からの協力を容易にするための環境づくりに町内会及び福祉委員、民生委員児童委員と一体となって活動に繋げた。また、福祉マップは災害時等における備えに繋がった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 15 回

●対象者 高齢者・障がい者
児童及び家族

●目的 ひとり暮らし高齢者等の孤立防止と仲間づくりと地域のつながりを深める。

●実施事業

・ふれあいサロン（1回）

出前講座で「カラーリング」を実施した。

・お楽しみ交流会（1回）

子供たちの夏休みに合わせ、高齢者等、会員によるレクリエーションなどを実施し交流会を深めた。

・お楽しみ昼食会（1回）

ひとり暮らし高齢者との会食と懇談により仲間づくり、余興等で慰労した。

・ラジオ体操（10日間）

子どもたちの夏休み期間に高齢者や会員等、暢寿園利用者が参加してラジオ体操を実施した。

・七夕まつり（1回）

児童、高齢者、会員及び暢寿園利用者が参加して実施した。

・子ども神輿

児童、会員により町内及び暢寿園内巡回をおこ

なった。

・日帰り旅行（1回）

町内会の懇親会行事として美唄遊倫館への旅行を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・市役所

●事業成果

ひとり暮らし高齢者の皆さんに町内会等の行事への参加を勧誘し、地域の人々と交流する機会を多くし、ふれあいを深めることにつながった。

ひとり暮らし高齢者との会食では、相互の近況や趣味等の会話で仲間づくりやふれあいを深めることにつながった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 ひとり暮らし高齢者・障がい者
(対象者数 27 人)

●目的 孤立防止につなげる地域の支え合い

●実施事業

・見守り、声かけ訪問活動

ひとり暮らし高齢者等世帯には、日常の生活を通じて、絶えず見守りや声かけ及び近隣住人からの協力を得ながら民生委員児童委員と緊密に連携して日常的な見守りと随時の訪問、福祉関連行事案内の配布時を利用して世帯状況の把握と安否確認等に努めた。

・生活支援活動

ひとり暮らし高齢者等世帯の健康に関することや生活上の相談等に細やかな対応に努め、信頼と不安解消に努めた。

また、冬季間の除雪支援の際、ひとり暮らし高齢者世帯に対する声かけによる見守りと、所在確認を行うよう意識した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・地域包括支援センター

●事業成果

対象世帯に対する見守り、声かけは地域近隣住

人の協力のもと、常に状況把握に努めており、地域一体となって孤立防止につなげている。

継続的な支援活動を行うにあたっては民生委員児童委員との連携に努めている。

生活支援では、対象者の必要とする用件には迅速な対応に努めている。また、健康に関する相談にも親身な対応を心がけ、信頼に繋げている。

富丘3丁目南町内会

福祉委員人数	7人	世帯数	305
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 4回

●対象者 町内会長・福祉委員・女性部他
(対象者数 25 人)

●目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有、資質の向上

●実施事業

・福祉委員会、女性部合同研修会

年間及び月間行事・事業の概要検討と推進、日常の小さな情報でも研修会で発表して、情報の共有化を図った。

●事業成果

福祉委員同士及び女性部部員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 21回

●対象者 高齢者・子ども・役員・福祉委員
女性部ほか
(対象者数 236 人)

●目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有、資質の向上

●実施事業

・いどばた交流会（毎月1回）

おしゃべりやお茶会を実施し、老人ホーム等に寄贈する清拭（多目的タオル等）を縫った。

・ひとり暮らし高齢者へ年賀状発送

寂しくなっていないかと年賀状を書いて送付した。受け取った時に少しでも和やかな気持ちになってくれれば幸いである。

・すこやかラジオ体操と花火遊び（6日間）

高齢者と子どもたちが一緒にラジオ体操を実施し、最終日の夕方にひとり暮らし高齢者と花火やスイカ割りなどで世代間交流を図った。

・女性会員日帰り温泉バス旅行（年1回）

温泉施設の利用で会員同士の交流を図った。

●事業成果

ひとり暮らし高齢者等の安否確認や健康状態、心配ごとの把握につながった。また、参加者同士、高齢者と子どもの交流により近隣のつながりづくり及び高齢者の閉じこもり防止につながった。

富丘3丁目北町内会

福祉委員人数	5人	世帯数	167
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 20回

●対象者 町内会長・役員・福祉委員・民生委員児童委員
(対象者数30人)

●目的 役員間の情報交換と連帯意識の高揚と支え合い精神の醸成

●実施事業

・福祉委員会

毎月定例福祉委員会を開催し、活動状況を報告しあい、連携を密にし実情把握に努めた。

・周知

福祉委員の紹介と福祉イベントの案内等を町内役員会にて共有し協議した。

高齢者を標的にした振り込め詐欺や悪徳商法等の情報交換をし注意を促した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

定期的な福祉委員会を開催し、役員会で報告し、共有・協議することで福祉委員・民生委員・役員同士の連携強化につながり、地域福祉が円滑に進められた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 1回

●対象者 65歳以上独居高齢者・80歳以上高齢者・子どもとその両親

●目的 町内会に対する長年の功績への感謝・長寿のお祝い親睦交流
伝統的な餅つきを通してのふれあい交流会

●実施事業

・敬老会

町内会館を利用して、75歳以上の高齢者を招き女性部、福祉委員の手作り料理を食べながら、おしゃべり、レクリエーション・ゲーム・カラオケなどを行い、親睦交流を図った。

・ふれあい餅つき交流会（1回）

日本古来の伝統的な「臼・杵」を使い、子ども達と子育て世帯の若夫婦に実際に体験してもらい、地域とのふれあいを図った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

核家族化が進み、高齢者とふれあう機会が少ない現代の子ども達にとっては、高齢者との交流を通して、昔ながらの臼や杵を使った餅つき体験を通して成長につながる多くのことを学んだ。また町内会館の前を通ると子どもが「今度いつ？」と聞いて、楽しみにしている様子が伺えた。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 通年実施

●対象者 要援護高齢者等
(対象者数17人)

●目的 高齢者等に対する気配り・目配り・心配りによる連帯意識の醸成

●実施事業

・要支援世帯台帳作成（更新及び対策）

日常的な支援が必要な高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握するため、要支援世帯台帳を作成（更新）し、状況に応じた対策等を協議した。

・見守り・声かけ訪問活動

ひとり暮らしの高齢者世帯や高齢者夫婦世帯に対して、日常的な見守りや定期的な声かけ訪問を行い安否確認と世帯状況や健康状態等の把握に努めた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

台帳作成や声かけ訪問を通じて福祉委員同士及び民生委員との連携強化につながり、意識向上にもつながった。

富丘4丁目東町内会

福祉委員人数	8人	世帯数	230
--------	----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

●実施回数 30回

●対象者 ひとり暮らし高齢者・高齢世帯障がい者世帯
(対象者数24人)

●目的 冬期間、安心・安全に暮らせるようにすること及び安否確認

●実施事業

・除雪支援活動(11月下旬～3月)

ひとり暮らし高齢者、高齢世帯、障がい者世帯を調査し、除雪支援を行った。

●事業成果

高齢者の方は本当に喜んでいるが、町内会自体の高齢化が進み支援の継続が心配となっている。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 5回

●対象者 会員、高齢者、女性部、子ども
(対象者数130人)

●目的 地域のつながりづくりと会員相互の親睦を図る

●実施事業

・ふれあい日帰り旅行（年1回）

温泉施設を利用して、食事やゲーム等で会員・高齢者との交流を深め、福祉活動への理解と協力をお願いした。

・餅つき大会（年1回）

・夏休みラジオ体操（夏休み期間）

・女性部バス研修（年1回）

工場見学や果物狩等の後、温泉施設での入浴・食事の後、会員との交流を図った。

・ふれあいサロン

町内会館を利用して、ゲーム、食事、懇談等で高齢者との交流を図った。

・敬老会

会食とカラオケなどで長寿を祝い、交流を深めた。

●事業成果

高齢者が多く毎年、参加人数は少なくなるが、参加者は大変喜んでいる。日帰り旅行は、会員・高齢者との交流を深めることができ、食事や入浴に喜んでいた。

餅つき大会では、子どもたちが楽しそうに餅つきを行い、親睦を図ることができた。

富丘西町内会

福祉委員人数	5人	世帯数	160
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 4回

●対象者 町内会長・福祉委員・総務
(対象者数7人)

●目的 福祉活動における役員間の情報交換・共有

●実施事業

・福祉委員会（年4回）

福祉活動の協議・検討、ひとり暮らし高齢者の情報交換、課題の共有を図った。

●事業成果

独居高齢者の安否確認についての報告や町内会行事の支援活動について情報交換を行った。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 6回

●対象者 高齢者（対象者数18人）

●目的 ひとり暮らしの高齢者宅訪問・見守り・声かけ

●実施事業

・ひとり暮らし高齢者宅訪問・見守り・声かけ

高齢者宅訪問で、上手くいった事例内容の報告により、訪問方法の検討や協議を行った。

高齢者の健康状態や身内（娘、息子）等の状況の情報交換を行った。

●事業成果

訪問を喜んでくれる人と苦手な人がいるので、夜間の電気や新聞受けなどで安否確認している。また、元気な高齢者には町内会の行事に積極的に参加してもらうよう努めた。回覧板は手渡しして安否確認を行った。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 2回

●対象者 町内会員
（対象者数38人）

●目的 会員相互の融和親睦交流を深める

●実施事業

・ふれあい日帰り旅行

全世帯を対象として参加希望者を募集し、団体行動で高齢者等に支援・協力して食事会・宴会（余興等）で親睦を図った。

・ふれあい交流会

全世帯を対象として参加希望者を募集し、飲食歓談、「いきいき体操」を行う等、会員相互の融

和・親睦交流を深めた。

●事業成果

恒例となっている「日帰り旅行」は、参加者も増え、車中での話に花が咲き、宴会のカラオケでは懐かしい歌等で盛り上がり、楽しい一日を過ごした。

定期総会後の交流会では、和やかに近況やお互いの健康について話し合い、楽しいひと時を過ごすことができた。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 1回（除雪は降雪時）

●対象者 ひとり暮らし高齢者
80歳以上高齢者
（対象者数44人）

●目的 ひとり暮らし高齢者の除雪支援
ささやかなプレゼント

●実施事業

・ささやかなプレゼント

喜ぶ顔を見ながら高齢者の方から情報収集（健康状態・悩み事等）をした。

・除雪支援活動（12月～3月）

民生委員と福祉部長が調整して除雪支援者を選定し、実施計画書を策定した。市から借りた機械により除雪を取組み、道路幅を広くし運転手や歩行者の安全を確保した。

●事業成果

高齢者宅の除雪支援により町内会員間で助け合いの団結力が強まった。また、高齢者の安否確認ができた。

高齢者の除雪費負担の心配がなく、安心して生活ができた。

町内会も高齢化するとともに、支援者が増えていくが支援協力者が少なく、確保が難しい。



末広東町内会

福祉委員人数	12人	世帯数	279
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 12回
- 対象者 町内会役員・民生委員・福祉委員
- 目的 地域福祉の推進
- 実施事業

・福祉会議（月1回）

毎月の例会時に、役員が出席した福祉関係会議及び研修の報告を行うとともに、ひとり暮らし高齢者、障がい者、歩行困難者等の情報の共有化を図り、必要とされる支援のあり方等について検討した。

●事業成果

福祉活動に係る情報交換、課題の共有、協議等を行うことができた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 4回
- 対象者 町内会員等、70歳以上高齢者ひとり暮らし高齢者及び子ども
- 目的 幅広い年代層で健康増進と会員間の世代交流、長寿のお祝い日本伝統の食文化の伝承と交流

●実施事業

・ミニ運動会と懇親会（末広東公園・1回）

ミニ運動会は、子どもから高齢者までが集い、パン食い競争や紅白玉入れなど、世代を越えて皆が楽しめる競技を行った。ミニ運動会の終了後、引き続き会場内で女性部が中心となり準備したジンギスカン等の昼食を皆で摂りながら参加者間の交流を図った。ミニ運動会、懇親会のいずれも明るく楽しい雰囲気の中で行われた。

・町内高齢者誕生会（町内会館・2回、対象者95名）

老人クラブと協力し、4月～9月生まれの方と10月～3月生まれの方を主賓として招き開催し

た。案内はチラシを町内会で回覧するとともに、福祉委員が分散して声かけと安否確認を兼ねて対象者宅を訪問するなど案内を行った。市販の弁当のほか、女性部が作った温かい手料理を摂りながら、余興やカラオケ等で楽しく交流を深めた。

・世代間交流餅つき大会（町内会館・1回）

通常の餅つきに合わせて、高齢の会員が子ども達に餅のつき方と作り方等を伝え、子どもは実際に子供用杵を使用して餅つきを体験し、ついた餅を丸めるなど餅を完成させた。最後にアンコ餅、きなこ餅、納豆餅など色々な餅を食べ交流した。

●事業成果

対象者宅を訪問して案内することで、健康状態や安否確認につながり、長寿を祝う機会とともに、参加者間の交流によるつながりづくりに効果があった。

餅つきは明るく楽しい雰囲気の中で実施となり、世代間交流が図られた。参加が叶わなかった会員、ひとり暮らしの高齢者に福祉委員が分散して餅を届けながら、安否確認と声かけを行うことで、スムーズに見守りを行うことができた。

末広中区町内会

福祉委員人数	8人	世帯数	170
--------	----	-----	-----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 3回
- 対象者 65歳以上のひとり暮らしの方75歳以上の高齢者・福祉部員

●実施事業

・独居昼食会（6月1回）

29名中14名が参加し、気楽なランチでおもてなしをし、ゲーム、カラオケ等で楽しく過ごした。

・敬老会（9月1回）

町内会長のもと福祉委員・福祉部員一丸となって、対象者各位に敬老の想いを伝え、喜んでもらった。72名中34名が参加。

・除雪慰労会（3月1回）

除雪支援の担い手の慰労並びに反省会を実施した。

花園町内会

福祉委員人数	18人	世帯数	700
--------	-----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 通年
- 対象者 ひとり暮らし高齢者等
(対象者数 120人)
- 目的 ひとり暮らし高齢者等の実態把握
- 実施事業
・資料の更新

町内のひとり暮らしの高齢者・障がい者等の要援護者・世帯の実態を調査・把握し、随時資料の更新を行い、地域での見守り等の体制づくりの資料として活用している。

- 事業成果
日頃から要援護者の実態を正確に把握していることで、平常時・災害時に対応でき、見守り体制等の確立もできる。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2回
- 対象者 高齢者・現役と子ども達の三世代
70歳以上高齢者
- 目的 三世代間交流を行うこと
高齢者の長寿を祝い交流する

- 実施事業
・三世代交流「餅つき大会」（7月1回）
臼と杵での餅つきで、子ども達も餅をついたり丸めたりして、楽しく三世代間の交流を図り約150名の参加があった。
・敬老会（9月1回）
高齢者の長寿を祝い、懇親・交流を図り、ビンゴゲームや食事・カラオケを楽しんだ。約80名の参加があった。

●事業成果

三世代の交流・親睦が図られ、敬老会では大変盛り上がり楽しいひと時となった。

高台町内会

福祉委員人数	12人	世帯数	435
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 6回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数 15人)
- 目的 各福祉事業に対する研修及び福祉活動における役員間の情報交換・共有、資質の向上を図る

- 実施事業
・福祉委員会
年間福祉事業計画の協議・検討・実行により福祉活動の情報交換・情報の共有を図った。
・福祉研修会
新任福祉委員の研修を行い、災害時要援護者避難支援プラン個別計画の拡充を図った。

- 事業成果
福祉委員、民生・児童委員間の連携が図られ、計画した福祉事業が展開でき、福祉活動への興味・関心が高まり、研修などを通じて一層の資質の向上が図られた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 4回
- 対象者 高齢者・独居・障がい者等
(対象者数 150人)
- 目的 要支援世帯の状況把握
- 実施事業
・要支援世帯台帳及び福祉マップの作成（更新）
見守り世帯の個別台帳を更新するため、再調査の方法や個別台帳作成のための情報共有・協議を

行った。

●事業成果

災害時要援護者避難支援プラン個別計画は昨年で完了したが、支援要請者が14名と少なかつたため、今後は追加支援要請者の把握について調査・検討していく必要がある。また、見守り世帯の把握が十分徹底できなかつたことから、継続して調査を実施する。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 5回
- 対象者 高齢者・障がい者・子ども・会員
(対象者数400人)
- 目的 高齢者の孤立防止、障がい者とのふれあい、仲間作り、世代間交流
- 実施事業
 - ・高台夏祭り・盆踊り（1回）
昭和35年から実施している町内最大の行事で、高齢者の孤立防止、障がい者とのふれあい、仲間づくり、世代間交流を図った。
 - ・高台ふれあいデー（6月10日 2回）
平成21年から高齢者との茶話会を中心に実施してきたが、前回から聴覚障がい者から手話を習い、今回も2回目の手話講習を実施し、意思疎通の回り方を勉強した。
お年寄りから海苔巻き作りの伝授や様々な味のカレー作りでコミュニケーションを図り交流を深めた。
 - ・敬老と感謝の集い（10月1回）
平成26年から復活した事業で、高齢者の孤立防止、仲間作りを図った。
 - ・ふれあい餅つき（12月1回）
役員・青少年部・女性部の共催で、子ども達の思い出作りと高齢者から子ども達へ、餅の作り方を伝授し、世代間交流を図り、子ども会から市長へ鏡餅を贈呈した。
 - ・新年会（1回）
花園コミセンにて87名の参加を得て開催し、世代間交流、仲間づくり、孤立防止を図った。
- 事業成果

いずれの事業も高齢者の孤立防止、障がい者とのふれあい、仲間づくり、世代間交流を主眼に実施しており、楽しく仲間づくりやコミュニケーションが図られた。今年の高台ふれあいデーの企画は良かったが、参加者募集の周知をより一層図る必要がある。

稲穂町内会

福祉委員人数	34人	世帯数	623
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 6回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員
民生委員児童委員
- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有、資質向上
- 実施事業
 - ・福祉委員会（年5回）
福祉活動の協議・検討及びひとり暮らし見守り世帯等に関する情報交換、課題の共有を行った。
 - ・福祉研修会（懇談会）の実施（1回）
市の出前講座を利用し、健康維持等に関する研修会を行った。
 - 連携・協力期間及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ
 - 事業成果
福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化及び意思の疎通につながり、町内の福祉活動が円滑に進められた。
福祉研修会では、町内の老人クラブ「寿会」と連携を図ることで参加率が向上し、健康問題等に関する意識向上につながった。
- 事業成果

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数277人)

●目的 高齢者世帯等の状況把握

●実施事業

・高齢者等名簿の作成（更新）

ひとり暮らし高齢者世帯（65歳以上）、70歳以上の高齢者世帯及び障がい者世帯の状況を把握するため、高齢者等名簿を作成（更新）し、必要に応じて見守りや声かけを行った。

・福祉マップの作成（更新）

高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握し、日常の見守りや非常時に備えた福祉マップを作成（更新）した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

高齢者世帯等の状況把握により、日常の見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになり、災害時等の備えにもつながった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 1回

●対象者 高齢者・障がい者・子ども会
（対象者数 88人）

●目的 高齢者の孤立防止と三世代による地域のつながりづくり

●実施事業

・三世代交流会（1回）

敬老の日にちなみ、大正・昭和・平成生まれの三世代による交流会を行い、会食・芸能（舞踊等）発表・室内ゲーム・歌謡発表等を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

ひとり暮らし高齢者等の安否確認や健康状態や心配ごとの把握につながった。また、参加者同士の交流により近隣のつながりづくり、高齢者の閉じこもり防止につながった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者
（対象者数 29人）

●目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り孤立防止につなげる

●実施事業

・誕生祝い贈呈、見守り、声かけ訪問活動

ひとり暮らし高齢者に対し誕生祝の贈呈の際、見守りや声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。

・安否確認組織図の作成（更新）

地震等が発生した場合のひとり暮らし高齢者世帯の安否確認担当者を決め、連絡・確認手段を確立した。

・除雪支援活動

ひとり暮らし高齢者等、必要な世帯に対して冬期の除雪支援を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

近隣住民にも協力をいただき、地域とのつながりづくりとひとり暮らし高齢者等の孤立防止につながった。

清流町内会

福祉委員人数	22人	世帯数	1026
--------	-----	-----	------

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 4回

●対象者 町内会長・福祉委員
民生委員児童委員
（対象者数 22人）

●目的 福祉委員活動での情報交換・共有、識見向上を図る

●実施事業

・福祉委員会（定例会議ほか）

活動計画と内容の協議を行い、福祉の現状（国、道、市、町内）について情報共有した。

委員担当地区の見守り、声かけなどによる発

見・情報・課題（福祉マップ）について話し合った。

・福祉研修会などへの参加

上級機関（市・社協）主催の研修会や講座（地域懇談会、ちとせ福祉フォーラムなど）へ参加し、ひきこもりや成年後見などの現状や認知症、介護、健康などについて講座で学んだ。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所・老人クラブは「清流親和会」と連携。

●事業成果

出欠委員の偏りがあり、仕事などで出席できない委員も多かった。日常活動の地域のパトロールや町内行事(夏祭り・もちつき大会・敬老会など)への委員の参加協力が得られた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 8回

●対象者 高齢者（65歳以上）
（対象者数 170人）

●目的 ひきこもり、認知症の予防
仲間とのふれあい

●実施事業

・ふれあいせoiriゅう（年6回）

このサロン活動も軌道に乗り、おしゃべりを中心にお茶とお菓子で2時間余りを過ごす。ビンゴゲーム、クイズ、百人一首、軽い体操、ノルディックウォーキング、頭の体操（漢字、ことわざなど）など毎回異なる趣向で笑顔の時間を過ごした。

・敬老会（年1回）

毎年恒例となり、ひとり暮らし・高齢者世帯（70歳以上）の方々の参加により、会食・余興・ビンゴゲーム（景品付）等を実施し、66名の参加があった。

・ひとり暮らし高齢者との食事会（年1回）

町内行事の「もちつき大会」に参加してもらい、つきたて餅と雑煮、弁当を用意した。高齢者が子ども達や若い世代に餅つきの手伝いや餅の丸め方等を教え、子どもたちや若い奥さんたちと交流

を図った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

サロン活動は定着してきた。気軽におしゃべりの場、ふれあう場が提供されている。高齢者の居場所づくりは小地域でも必須であり、高齢者の笑顔がうれしい。趣向を凝らしサロン活動を継続したい。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 通年

●対象者 ひとり暮らし高齢者・障がい者
（対象者数 35人）

●目的 ひとり暮らし高齢者の引きこもりと孤立・認知症予防
困り事・悩み事（病気など）の発見と相談

●実施事業

・見守り、声かけ活動

基本的な日常活動で、特にひとり暮らし高齢者（障がい者）宅への訪問を中心に行った。プライバシー尊重で難しい面もあったが、安否確認と緊急連絡先（娘、息子）などの状況把握につながるように活動を実施した。

・ひとり暮らし高齢者へ訪問

町内会の「もちつき大会」と連動して、ひとり暮らし高齢者と餅つきを実施、雑煮で食事会を行った。出席できなかったひとり暮らし高齢者（障がい者含む）には、会長・役員・福祉委員が手分けして自宅へ、つきたて餅とクリスマスプレゼントを届け喜ばれている。この時、本人の近況や除雪などの相談にのり、やさしさとふれあいを感じてもらっている。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

福祉委員の基本活動でもある見守り・声かけは、近所の方の協力もあり、孤立・引きこもり・認知症などの防止策となっている。安否確認や本人と

離れて暮らす娘、息子の所在などの聴き取りにも力を入れている。高齢者、特にひとり暮らし世帯が急速に増える時代、成果を問うことよりも日常的な継続がより急務となっている。

青葉2丁目町内会

福祉委員人数	2人	世帯数	70
--------	----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 4回 見守り隊は通年
- 対象者 町内会員（65歳以上・児童）
- 目的 住民同士の交流と支え合い、登校時の交通安全と高齢者の安否確認

●実施事業

・新年会（35名参加）

女性部の愛情のこもった手料理で飲食が進むうちに心から打ち解け談笑し、会員同士のきずなを深めた。

・夏祭り

女性部手作りの料理を味わいながらゲームに興じ、和気あいあい楽しく交流を深めた。

・子ども神こし

子ども中心の行事ではあるが、評判が良く子ども達の参加者が多く大盛況だった。

・登校時の交通安全

学童の登校時間帯に車道の安全通過の見守りを実施した。

・敬老の日

65歳以上の高齢者へ記念品をもって訪問し、安否確認と近況の把握を行った。

●連携・協力機関及び団体

福祉部

●事業成果

町内会の融和・親睦が図られた。高齢者と直接面会ができ、健康状態等の安否確認の把握ができた。

青葉3丁目町内会

福祉委員人数	3人	世帯数	200
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 11回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員
民生委員児童委員ほか
(対象者数5人)
- 目的 対象者世帯を訪問し、民生委員・福祉委員の周知及び情報の共有化

●実施事業

・定期的訪問実施

健康状態の聴き取りや生活不安の意見集約を実施した。

・情報の共有化

関係役員との情報共有化と改善点の把握と早期改善を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

福祉委員、民生委員との連携強化につながった。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者等・障がい者
(対象者数12人)
- 目的 要支援者の把握

●実施事業

・要支援者世帯票の現行化

日常の訪問や声かけ等により、要支援者の現状把握を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・福祉部役員

●事業成果

対象者との意見交換により、支援希望内容を詳細に把握することができ、各担当が連携して取り組むことができた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 6回
- 対象者 高齢者世帯等
(対象者数8人)
- 目的 交流により疎外感の払拭と連帯感の醸成を図る

●実施事業

- ・ひとり暮らし高齢者との食事会等
茶話会(2回)、食事会(2回)
- ・交流会

町内会行事へ参加(パークゴルフ、夏祭り、敬老会、餅つき等)し、様々な年代層との交流を図った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・役員・会員

●事業成果

各種行事を通じて、多くの会員と交流を図ることで閉じこもり防止になり、地域に住む連帯感につながった。また、日頃の健康状態の把握につながった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者世帯
(対象者数8人)
- 目的 地域の支え合い、高齢者等の孤立防止

●実施事業

- ・見守り、声かけ活動の実施

訪問回数を増やすことで、気軽に話ができるようになった。

- ・弁当の配布

町内会の行事に合わせ、弁当の配布と誕生日には心のこもった品物を届け、大変喜ばれた。

- ・生活の手伝い

困りごとの相談を受け、解決できた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・役員・会員

●事業成果

各種行事を通じて、多くの会員と交流を図ることで閉じこもり防止になり、地域に住む連帯感につながった。また、日頃の健康状態の把握につながった。

青葉6丁目町内会

福祉委員人数	6人	世帯数	116
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 20回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員
民生委員児童委員・児童
(対象者数20人)
- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換

●実施事業

- ・福祉委員会(20回)

毎月1回、福祉委員活動における情報交換、要支援世帯への見守り、声掛け、支援を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

要支援世帯への見守り、声掛けにより安否確認ができた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 ひとり暮らし高齢者、障がい者
- 目的 要支援を含む高齢者の状況把握

●実施事業

- ・福祉マップの更新

福祉部会の開催でマップの更新や世帯台帳により、ひとり暮らし高齢者の日常生活の変化等を把握し、声かけ見守り活動の強化等を確認した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

青葉丘町内会

福祉委員人数	6人	世帯数	178
--------	----	-----	-----

日頃の声かけや見守りの中で、孤立の状況を把握することができ、要支援者世帯への訪問が円滑に行われた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 20回
- 対象者 ひとり暮らし高齢者ほか
(対象者数40人)
- 目的 福祉委員がふれあい活動に参加し、高齢者との交流を図る
- 実施事業
 - ・老人クラブ「きらく会」(12回)
福祉委員も出席し、高齢者とのつながりを深めた。
 - ・夏祭り(1回)
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ
- 事業成果
行事を通し参加者の様子や参加されなかった方の近況の把握ができた。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 ひとり暮らし高齢者、障がい者
- 目的 地域の支え合い、連帯感の醸成を図り、孤立防止につなげる。
- 実施事業
 - ・除雪支援
冬期間の支援活動として除雪作業を実施した。
 - ・歳末のプレゼント
ひとり暮らし高齢者世帯へクリスマスプレゼントを届けるとともに、歳末にかけての安否確認を行った。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員、老人クラブ
- 事業成果
地域交流の重要性を再認識した。

1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 5回
- 対象者 町内会会員・高齢者
(対象者数100人)
- 目的 三世代の交流、地域のつながり
- 実施事業
 - ・子ども神輿町内巡回(1回)
子ども達を中心として神輿を町内巡回し、日本古来の文化を伝えるとともに、子どもを通じてお母さん方の交流を図った。
 - ・ふれあい屋外会食会(1回)
屋外バーベキューを通して会員同士の交流を図るとともに、隣近所の誘い合いを通して、近況の確認と高齢者の出無精等の解消になった。
 - ・高齢者等をふれあい会食会(1回)
食事会・ゲーム・カラオケ等で親睦を深めるとともに、出席できなくなった80歳以上のひとり暮らしの高齢者宅へ食事を届け、近況の把握を行った。
 - ・ふれあい餅つき(1回)
高齢者が持っている特技を若いお母さんや子ども達に、体験を通じて伝え、交流を図った。また、町内会長と民生児童委員がひとり暮らし高齢者宅を訪問し赤飯を届けた。
 - ・ふれあい日帰り旅行
希望者が15名に達しなかったため中止。
- 事業成果
高齢者相互の親睦と安否確認につながり、参加者間の交流が深められた。
また、高齢者等ふれあい会食出欠確認時に、救急カード更新状況確認等を進めることができた。

2 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 4回
- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数80人)

- **目的** 民生委員児童委員、福祉委員
女性部による福祉情報の周知

● **実施事業**

- ・ **訪問、電話活動、福祉情報のお知らせ**

行事への出欠確認時に困りごとや健康状態を確認することができた。高齢者を対象とした行事開催時に、救急カードの趣旨説明や更新の呼びかけを行った。

● **事業成果**

高齢者対象行事等の出欠確認時に、会話から近況を把握することができた。

住吉2丁目町内会

福祉委員人数	2人	世帯数	57
--------	----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- **実施回数** 6回
- **対象者** 町内会長・役員・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数 10人)
- **目的** 福祉委員活動における役員間の
情報交換・共有、資質の向上

● **実施事業**

- ・ **福祉委員会（4回）**

福祉活動の協議・検討及び見守り世帯等に関する情報交換、課題の見直しを行った。

- ・ **「福祉委員会だより」発行（6回）**

福祉委員、民生委員児童委員の周知、福祉活動の案内、振り込め詐欺や悪徳商法に関する注意喚起を掲載した。

● **連携・協力機関及び団体**

民生委員児童委員

● **事業成果**

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。福祉活動に対する関心が高まり、福祉委員等の資質向上につながった。

2 調査活動（実態把握）

- **実施回数** 年間を通じて実施
- **対象者** 高齢者・障がい者
(対象者数 11人)
- **目的** 要支援世帯の状況把握

● **実施事業**

- ・ **要支援世帯台帳の作成（更新）**

日常的な支援が必要な高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握するため、要支援世帯台帳を作成（更新）し、必要に応じて見守りや声かけを行った。

- ・ **福祉マップの作成（更新）**

高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握し、日常の見守りや非常時に備えた福祉マップを作成（更新）した。

● **連携・協力機関及び団体**

民生委員児童委員

● **事業成果**

要支援世帯等の状況把握により、日常の見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになり、災害時等の備えにもつながった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- **実施回数** 10回
- **対象者** 高齢者
(対象者数 40人)
- **目的** 高齢者の孤立防止と仲間づくり
地域のつながりづくり

● **実施事業**

- ・ **ふれあいサロン（10回）**

おしゃべりや食事会、レクリエーション、カラオケ、健康体操や疾病予防の講演会等を実施した。

- ・ **ふれあいパークゴルフ（2回）**

屋外活動として、地域のふれあいと健康増進を図りながら交流を行った。

● **連携・協力機関及び団体**

民生委員児童委員

● **事業成果**

ひとり暮らし高齢者等の安否確認や健康状態

の把握と高齢者の閉じこもり防止につながった。
また、参加者同士の交流により地域のつながり
づくりになった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 11 人)
- 目的 地域の支え合い・連帯意識の醸成
を図り孤立防止につなげる
- 実施事業
 - ・見守り、声かけ訪問活動
ひとり暮らし高齢者世帯等に対して、日常的な
見守りや定期的な声かけ訪問を行い、安否確認と
世帯状況の把握に努めた。
 - 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
 - 事業成果
近隣住民にも協力をいただき、地域のつながり
づくりと一人暮らし高齢者等の孤立防止につな
がった。困りごとの相談や細やかな支援により安
心して生活できる環境作りにつながった。

住吉北町内会

福祉委員人数	15 人	世帯数	262
--------	------	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 12 回
- 対象者 町内会長・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数 17 人)
- 目的 福祉委員会会同において役員間
の情報交換・共有、資質の向上
- 実施事業
 - ・福祉委員会会同
行事・活動内容を協議検討し、特に独居者・障
がいのある方に対する情報を交換して、実情を把

握するとともに諸問題に対処する。また研修会参
加の普及教育を実施した。

- ・情報の供給
高齢者に対し、詐欺等の情報をその都度知らせ
て被害防止に努める。
- ・福祉研修会（講話）の実施
社会福祉協議会・包括支援センター等と連携し
て研修会を実施し、その他各種研修会に参加した。
- 事業成果
社会福祉協議会・市町連の開催する研修に積極
的に参加し、福祉委員会において普及教育を実施
して情報を共有した。交流会活動を通じ新聞やテ
レビ等で報道されている特殊詐欺の実態や対策
等の注意喚起を行ったため、町内では被害は発生
していない。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者
- 目的 高齢者を把握して事後の支援体
制を確立する
- 実施事業
 - ・高齢者名簿の作成
65 歳以上の高齢者を把握して現況を把握した。
 - ・独居者の緊急連絡先の把握
独居者の不測の事態に備えた。
 - 事業成果
近年高齢者が多くなり、またアパート入居者の
個人情報等においては、把握が困難な面もあるが、
町内会会員においては約 80%把握できている。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 30 回
- 対象者 高齢者
(対象者数 100 人)
- 目的 高齢者・独居者と福祉委員会と
の交流及び高齢者相互の意思の
疎通、さらに心身健康の維持
- 実施事業

・サロン活動（月2回）

睦会（老人クラブ）を主体に毎月2回例会を開き、カラオケ・囲碁・将棋等それぞれの得意分野において楽しみ、交流を図った。

・お食事会の実施

独居者、伴侶を亡くされた方と福祉委員・民生委員児童委員との交流を図り、現況を把握するとともに相互の意思の疎通を図った。

・日帰り旅行（1回）

町内会と共同で高齢者の気分転換を図るため実施した。

・餅つき、子供会との交流（1回）

日本古来からの伝統の餅つきを通じて子ども会との交流を行い、伝統の継承を図り高齢者に生き甲斐を与える。

・健康運動（3回）

パークゴルフや健康体操・室内ゲーム大会等を通じ、運動不足になりがちな高齢者の健康の維持増進を図り、各人の健康状態を把握した。

●事業成果

食事会において、スコープ三味線の支援を受け余興を楽しんだ。今年度は千歳の市内巡りを計画し、千歳の発展ぶりを体験した。環境センター・北ガス文化センター・防災施設そなえーるの研修を兼ねた見学では、施設の設立の意義を体験でき、独居者の方に変化を与え、気分転換を図ることができた。参加者には貴重な体験と喜んでもらえた。

※今年度から町内会で毎週1回行う、いきいき百歳体操に参加し、健康の維持増進を図っている。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて

●対象者 独居者・障がい者
（対象者数 35人）

●目的 独居者・障がい者が安心して生活ができるよう支援する

●実施事業

・見守り、声かけ訪問活動

担当を設けて、月に最低2回は訪問し、悩みごとや困りごとなどの情報収集を行い、解決策を見

出す。また、話し相手をして気分転換を図り、安心して生活できるよう支援する。

・除雪支援（対象者 27人）

冬期間除雪困難な方に、生活道路及び非常避難経路等を主体に、生活に支障のない程度に除雪支援を行い、安心・安全に生活できるようにした。

・家庭内の小さな手伝い

相談ごとの相手、草取りや電球の交換等小さなことに対し、気軽に手伝いをした。

●事業成果

担当の独居者宅を定期的に回り、声かけを行い世間話しながら状況を確認するとともに、情報を収集して会同時に報告、全委員が情報を共有しながら活動の幅を広げている。

また、町内餅つきに併せて、独居の方にお弁当を配布し喜んでいただいた。また、除雪支援については大雪時に巡回して、生活に支障のないよう着意している。

住吉4丁目町内会

福祉委員人数	12人	世帯数	353
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 14回

●対象者 町内会長・福祉委員
民生委員児童委員
（対象者数 14人）

●目的 福祉委員活動における役員間の情報交換、資質向上

●実施事業

・福祉委員会

福祉活動の協議・検討をするとともに、見守り世帯に関する情報交換を行った。福祉委員会議を茶話会に併せて高齢者との交流を図り、詐欺被害防止など呼びかけを行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・地域包括支援センター

●事業成果

役員同士と民生委員との連携強化につながり活動が円滑に進められた。また、福祉活動に対する関心が高まった。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 115 人)

●目的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

・介護を必要とする世帯の把握

要支援者の見守り・声かけ及び地域包括支援センターへの連絡と見守り、実態の把握に努めた。

高齢者が多く寝たきりにならないよう、介護予防体操の参加を呼びかけた。

・救急カードの更新

町内会未加入者への呼びかけの際、高齢者等への見守り、声かけなどを行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・地域包括支援センター

●事業成果

介護予防体操の参加は 60 代、70 代、80 代と参加者は多くなっている。

若い世帯も増え、赤ちゃんの誕生を機に、救急カードも喜んで受け取ってもらえた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 36 回

●対象者 高齢者・障がい者・町内会会員
(対象者数 320 人)

●目的 高齢者の孤立防止、地域のつながりづくり、介護予防体操

●実施事業

・春の福祉の集い（1回）

高齢者と地域住民との交流を図るため、おしゃべり、会食、ゲーム、カラオケ等を実施した。

・秋の福祉の集い（日帰り温泉旅行・1回）

高齢者と町内会員との親睦と交流を図るため

日帰り温泉旅行を実施した。

・茶話会、介護予防教室（月 12 回）

介護予防体操後のおしゃべり、簡単なドリル、まちがいさがし、カラオケ等を実施。3カ月に一度の体力測定も行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・介護予防リーダー

●事業成果

高齢者と地域住民の交流を図り、安心して生活ができる環境になった。高齢者の閉じこもり防止や寝たきり防止のための体力作りに理解を示し、楽しみに参加している。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 115 人)

●目的 高齢者の孤立防止と地域の支え合い

●実施事業

・見守り、声かけ訪問活動

見守り、安否確認と世帯状況の把握に努めた。80歳以上の高齢者、障がい者を支援する家族へ町内会から贈り物を届けた。

・除雪支援活動

除雪支援を必要とする高齢者・障がい者世帯、独居高齢者へ町内会員の協力で行った。

・生活支援活動

車の運転をやめた方、体力をなくした方の資源物資の運搬の支援をした。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・福祉委員

●事業成果

福祉委員と町内会員の協力で、安全、安心のできる町内環境である。

ひとり暮らし、高齢者の孤立防止につながった。

住吉5丁目町内会

福祉委員人数	7人	世帯数	250
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 10回
- 対象者 町内会役員・福祉委員
老人クラブ参加者
(対象者数70人)
- 目的 福祉委員活動における役員間の
情報交換・共有、資質向上

●実施事業

・福祉委員会（7月を除き毎月1回）

見守り世帯等に関する福祉委員同士の情報交換、課題の共有を行った。

・福祉だよりの発行（10回）

福祉委員の活動状況の紹介、周知、町内会の福祉に関する行事、社協等の情報資料、案内等を掲載した。

・小地域内福祉の研究と普及（2回）

社協の研修会、市の出前講座などに参加し、介護予防体操、健康維持について研修を実施した。

●事業成果

対象見守り世帯等に関する各委員の情報資料の報告により、福祉問題の現況把握と問題点を共有し、解決方法について協議し、委員同士の連携が図られ、福祉活動が円滑に進められた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者、障がい者家族
町内会会員（対象者数140人）
- 目的 要支援世帯の状況把握
福祉マップ更新

●実施事業

・要支援世帯台帳の作成

支援が必要な高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を適切に把握するため、要支援世帯台帳を確認し、各問題点に応じた見守り活動や訪問、声か

けを行った。

・福祉マップの作成・更新

ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握し、日常の見守りや非常時に備えた福祉マップを更新した。

・救急カード事業の活用と対象者の状況確認

今年度、現実に町内会地域に救急車の出動が多かったため、対象者の現況確認と救急カード未加入者に対し、随時訪問するなどして、内容の確認と再配布を実施した。

●事業成果

要支援世帯等の現況把握と要支援者に対し、担当者の日常の見守り・声かけ活動が円滑に行われるとともに、災害時に備える住民意識の向上が図られた。

救急カード記載内容の変更状況や現況の確認ができた。また、新規町内会加入者への配布を行った。

3 交流活動（ふれあい・語り）

- 実施回数 16回
- 対象者 高齢者・障がい者・子ども
(対象者数90人)
- 目的 親睦と交流
高齢者の孤立防止と仲間づくり
地域のつながりづくり

●実施事業

・ふれあいサロン

町内会館にて健康体操、レクリエーション、おしゃべり会、食事会などを行い、寿会員同士や未加入者の招待等でふれあい交流を図った。

・ひとり暮らし高齢者との昼食会（2回）

対象者を招き、日常の困りごとや健康状態の把握に努め、食事会を取り入れて福祉委員との交流を図った。

・お楽しみ交流会（2回）

子ども達の夏・冬休みにあわせてラジオ体操、餅つき、合同レクを通して、高齢者との交流会を図った。

・ふれあい日帰り旅行等（2回）

果物狩り、温泉施設の利用を通して会員同士の交流を図り、併せて高齢者世帯等の現況把握につなげた。

●事業成果

寿会（老人クラブ）と連携し花壇作り、健康講座と健康体操、パークゴルフ大会、カラオケ活動、食事会、小・中学生と夏休みにラジオ体操、合同レクリエーションで交流会を実施した。

文化祭にはビンゴゲーム、冬は餅つき大会にあわせて高齢者等との交流を図った。

温泉施設を利用した健康講座と懇談会の実施、果物狩りで町内会女性と寿会のふれあい行事により、参加者同士の交流が活発化した。また、向こう3軒両隣の気風が盛り上がり、近隣のつながりづくりが向上した。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 150 人)
- 目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り孤立防止につなげる

●実施事業

・生活支援活動

ひとり暮らし高齢者及び障がい者世帯の状況把握に努め、買い物や家事等の生活支援を行った。

・除雪支援活動

福祉委員と町内会支援者により、除雪困難世帯6世帯に除雪支援を行った。

●事業成果

町内会班長等の協力もあり、募金活動、社会福祉協議会等の広報誌配布の際、安否確認等を行い、地域のつながりづくりとひとり暮らし高齢者等の孤立防止を図った。



東郊町内会

福祉委員人数	13 人	世帯数	350
--------	------	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 6 回
- 対象者 町内会長・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数 13 人)
- 目的 福祉活動の協議・情報交換
- 実施事業
・福祉委員会
福祉活動の協議及び計画、対象者の健康や生活状況等の情報交換を実施した。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 通年実施
- 対象者 高齢者・独居高齢者
(対象者数 98 人)
- 目的 健康状況・生活状況の把握
- 実施事業
・訪問活動
福祉委員が分担して戸別訪問を行い、健康状況や生活状況の確認・把握と町内全体の見回りを実施した。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2 回
- 対象者 高齢者世帯、独居高齢者
(対象者数 98 人)
- 目的 高齢者の孤立防止と親睦
- 実施事業
・食事会
福祉委員手作りの料理による、高齢者世帯・独居高齢者との食事会と余興（ゲーム・カラオケ）で交流を図った。

豊里町内会

福祉委員人数	22人	世帯数	470
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 町内会長・防災部長・民生委員児童委員・福祉部・その他役員
(対象者数 30人)
- 目的 要援護者等の状況把握と救急カードの継続
- 実施事業
 - ・懇談会
訪問数の多い福祉部と防災部、民生委員児童委員との連携を図った。
 - ・福祉マップの作成の継続
 - ・救急カード
総会時に救急カードの説明をし、必要な方への把握等を班長にお願いしている。
 - ・高齢者宅訪問
年末に民生委員と福祉部が高齢者、独居者宅を訪問する。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ
- 事業成果
継続した訪問により、信頼関係を築いている。何かあった時に相談しやすい環境をつくっている。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 1回
- 対象者 高齢者世帯・町内会員・役員
(対象者数 150人)
- 目的 お祝い行事を通じて交流
- 実施事業
 - ・敬老会
福祉部が主催し、食事会、ゲーム等工夫を凝らして開催し、参加者同士の交流も図った。
古希、喜寿、傘寿、米寿、卒寿にあたる方に粗

品を用意し、参加できなかった方には粗品を持って訪問した。

- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ
- 事業成果

訪問によるお知らせで、参加者が増え、顔の見える交流ができた。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 期間にあわせて実施
- 対象者 高齢者（70歳以上）
(対象者数 120人)
- 目的 高齢者に対する尊敬、感謝の気持ちで訪問、現状把握
- 実施事業
 - ・訪問活動（5月母の日・6月父の日）
1丁目～5丁目に福祉委員の担当を置き、2名以上で高齢者宅を訪問した。福祉部としてささやかなプレゼントを用意し、会話の中で日常生活の状況や体調等を聞き情報交換や会話を楽しんだ。
- 連携・協力機関及び団体
老人クラブ
- 事業成果
恒例行事となりましたが、10年の節目をもちこの事業は終了とし、新たな訪問の取り組みを行う。

日の出東町内会

福祉委員人数	2人	世帯数	98
--------	----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 2回
- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員
町内会三役
(対象者数 8人)
- 目的 福祉委員、民生委員児童委員を中心とした役員間の情報等共有

●実施事業

・福祉会議

各種行事前に開催し、行事の確認・協議・検討を実施するとともに、各種行事の参加・不参加等を把握し、高齢者・単身者・障がい者等の健康等の情報を共有した。

●事業成果

委員間の意志の疎通・情報の共有化を図り、地域福祉活動を円滑に推進できた。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 通年

●対象者 全町内会員
(対象者数 265 人)

●目的 災害時における要支援世帯(者)及び日常の健康状況の把握等

●実施事業

・会員名簿の補備・修正（26年度に作成）

新たに町内会に加入した会員や世帯内の健康等の変化について把握し、災害時等に活用すべく補備・修正をし最新の状態に維持した。

●事業成果

要支援世帯(者)の把握ができ、敬老慰安会等の人員掌握等(年齢確認)にも活用できた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 2回

●対象者 高齢者
(対象者数 58 人)

●目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり

●実施事業

・敬老慰安会（高齢者参加者 18 名）

70 歳以上の高齢者を招待し、食事をしながら演芸・カラオケ・ゲーム等を他の会員とともに楽しんだ。参加できなかった高齢者には、健康等の把握を兼ね福祉委員等が「記念品」を宅配した。

・餅つき（高齢者参加者 27 名）

伝統文化継承を兼ね、高齢者・子ども達を含めて餅の「つき方」・「丸め方」等を体験し、参加者

全員で会食した。参加できなかった高齢者には健康等の把握を兼ね福祉委員等が「餅のパック詰め」を宅配した。また、子ども達が多く参加できるようクリスマス行事もあわせて実施した。

●事業成果

参加者全員が一体となり交流を深め、高齢者の孤立防止と仲間づくりができた。餅つきは若い家族の参加もあり、餅の「丸め方」「餡の詰め方」等を体験し、子どもたちは、初めての餅つきを楽しんだ。

また、「餅のパック詰め」宅配は好評だった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 通年

●対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 58 人)

●目的 地域の支え合いと孤立防止を図る

●実施事業

・見守り、声かけ活動

各班長が町内会費徴収や各種募金等で訪問の時に声かけを実施し、世帯・健康状況を把握した。

・高齢者への餅等の配布

敬老慰安会・もちつきに参加できなかった方々への「記念品」「餅のパック詰め」を宅配するとともに、健康状況等を把握した。

●事業成果

福祉委員・班長等の情報により孤立死等もなく、地域の支え合いと孤立防止を図ることができた。



日の出北町内会

福祉委員人数	5人	世帯数	140
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 12回
- 対象者 福祉委員・町内会役員
民生委員児童委員
(対象者数17人)
- 目的 福祉活動における町内会役員、
福祉委員及び民生委員児童委員
との情報の共有並びに協力体制
の強化を図る
- 実施事業
・福祉委員会（毎月1回）
福祉活動の検討、災害時要援護者及び独居高齢者に関する情報交換を実施した。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果
情報を共有することにより、地域福祉活動が円滑に実施できた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通して実施
- 対象者 高齢者及び障がい者世帯
(対象者数40人)
- 目的 要支援世帯等の状況把握並び
に独居高齢者等の引きこもり
防止を図る
- 実施事業
・要支援世帯の把握
・独居高齢者に対する声かけ
・救急カードの更新及び普及活動
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果
支援が必要な世帯を把握し、支援要領等を検討して支援者側の意思の疎通が図れた。見守りや声

かけを日常的に実施することで、高齢者等の引きこもり防止が図れた。また、救急カードの設置確認により、特に高齢者の見守りが実施できた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 1回
- 対象者 町内子ども会・両親・高齢者等
(対象者数70人)
- 目的 クリスマスパーティを通じて町
内会会員相互及び幼児等との親
睦を深め、子育ての一助とする
とともに世代間交流を図る
- 実施事業
・クリスマスパーティ
子ども会中心でクリスマスケーキの作製とゲームを実施した。子ども、両親、高齢者の三世代間でパーティを行った。
- 事業成果
各世代間の交流を通じて、子育て支援及び子ども達の健全育成・独居高齢者の孤立防止に寄与した。

梅ヶ丘1丁目町内会

福祉委員人数	6人	世帯数	106
--------	----	-----	-----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 1回
- 対象者 町内会会員（対象者数301人）
- 目的 町内会会員のふれあい
- 実施事業
・昔の村祭り(参加者77名)
誰でも参加しやすいよう参加費を1,000円とし、高校生以下及び70歳以上は無料で実施した。おでんや焼きそば、ビールに焼き鳥、子どもには焼きとうもろこし等を用意した。現役高校生の青年部長の提案で流しソーメンを実施し、高齢者や子どもたちにも大人気だった。

子どもは恒例のスイカ割りを行い、割ったスイカは皆で「いただきます」。今年の出し物は、南京玉すだれで観客参加型、10分間の指導を受け、めでたくオリンピックの五輪が完成。一大イベントの抽選会は、道産米のおぼろづき(10kg)が出たところで終了した。

●事業成果

参加者全員が名札を付けたので、会話がスムーズに運び、互いに町内会の人であることが理解され、「ふれあい」が深められた。

今年から、公園の東屋の上部に「納涼親睦会」の横断幕を設置し、村祭りの雰囲気盛り上げました。横断幕を背景にお婆ちゃんと孫が記念写真をパチリ。

旭ヶ丘町内会

福祉委員人数	7人	世帯数	430
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 4回
- 対象者 役員・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数 16人)
- 目的 福祉活動の情報交換、情報の共有、資質向上
- 実施事業
 - ・福祉委員会（6回）
福祉事業活動の細部計画の検討・打ち合せと、情報交換、課題等を協議した。
 - ・福祉会同（3回）
福祉関係者が一同に会し、町内福祉事業活動について情報交換、情報の共有を実施した。
 - ・福祉研修会（懇談会等）
千歳市、社会福祉協議会の研修会に参加した。
- 事業成果
福祉委員間の連携のため、情報の共有化、活動計画・成果の確認と問題点の検討。訪問の際に複数で実施するなどの打合せを行い、活動を円滑に

進めることができ、福祉委員の資質向上につながった。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年1回以上
- 対象者 救急・高齢者
- 目的 「救急カード」の見直し・確認をする
- 実施事業
 - ・「救急カード」「世帯名簿」の修正
町内会全世帯に対し、配布済みの救急カードの修正と訪問時に近況等の確認、家族状況等の変更を把握して名簿の修正を実施した。
- 事業成果
町内会全世帯に対し、配布済みの救急カードの修正と訪問時に家族状況の変更等を把握、災害時の要支援者等の把握につながった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 16回
- 対象者 高齢者・役員・福祉委員・4家族
- 目的 高齢者と町内会員の交流
子育て支援や敬老会、創作活動を通じての交流
- 実施事業
 - ・パークゴルフ（年2回）（対象者数 30人）
町内会サークル「パークゴルフ同好会」の支援を受けて、町内会整備のパークゴルフ場を利用し、町内会員と高齢者の親睦・交流を図った。参加費500円で大会終了後、現地で昼食(ジンギスカン)交流会を実施した。
 - ・親子ひろば（月1回）（対象者数 3人）
子育て中の親子と一緒にゲーム・おやつ等により、一日を過ごした。子育て中の親同士の話合いの場づくりをねらいとした。
 - ・ふれあいサロン（4回）（対象者数 100人）
町内会館でおしゃべり食事、介護予防百歳体操等を行って高齢者間の交流を図った。
「いきいき百歳体操・かみかみ百歳体操・体力

測定等」により、健康意識の向上に努めた。

・ひな祭（1回）（対象者数 50 人）

70 歳以上の方への参加を呼びかけ、創作活動、ゲーム等で親睦を深めた。

●事業成果

・町内会整備のパークゴルフ場で実施し、ジンギスカンを食べながら、終始和やかな交流会となった。

・子育て中のお母さん方の交流の場となり、ママ友づくりのきっかけとなっている。

・社協のモデル事業として参加、介護予防センターの指導のもと週 2 回実施した。最高齢 88 歳の方をはじめ、20 名前後の方が熱心に参加いただくようになり、高齢者の閉じこもり防止につながっている。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 12 月から 3 月

●対象者 ひとり暮らし高齢者世帯
障がい者世帯・病弱者世帯
（対象者数 100 人）

●目的 ひとり暮らし高齢者世帯・障がい者世帯・病弱者世帯に対して除雪支援をして安心して暮らせる地域に貢献

・除雪支援（対象者数 11 世帯）

事前に除雪支援者宅の状況を福祉委員・民生委員により細部調査を実施し、支援を決定した。その後、町内会会員からボランティアを募集し、10 名で 10～15 cm 以上の降雪を基準に対象者宅を除雪した。

・年賀状送付

福祉委員が担当地域の 75 歳以上の方へ年賀状で新年のあいさつを行った。担当ごとに自ら住所およびコメント等を手書きし、本年の挨拶とした。

●事業成果

除雪支援回数延べ 131 回、年賀状送付を通し見守り交流ができた。ひとり暮らし世帯から感謝の言葉をいただいた。

弥生町内会

福祉委員人数	8 人	世帯数	800
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 17 回

●対象者 福祉委員
（対象者数 7 人）

●目的 福祉委員活動における委員間の情報交換、事業の企画・調整

●実施事業

・福祉委員定例会（月 1 回）

福祉活動計画と執行、委員間の情報交換・活動の分担、課題の共有を行った。

・研修会等への参加

地域福祉に関する研修会、フォーラムに参加した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化につながり地域福祉活動が円滑に進められた。福祉活動に対する関心が高まり、福祉委員等の資質向上につながった。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 5 回

●対象者 概ね 70 歳以上の高齢者及びひとり暮らし高齢者
（対象者数 170 人）

●目的 ふれあいを深め楽しみ、学びあい、生きがいをもつ

●実施事業

・ふれあいサロン（年 3 回）

歌声サロン、ゲーム、簡単な体操、食事会を実施した。

・弥生町内会高齢者を囲む会（年 1 回）

70 歳以上の高齢者を招待し、食事や余興を通して高齢者との交流を図った。

・ふれあい日帰り旅行（年1回）

温泉施設の利用を通して会員同士の交流を図り、併せて高齢世帯等の現状の把握に努めた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

ひとり暮らし高齢者の安否確認や健康状態の把握、参加者同士の交流により近隣のつながりづくりにつながった。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者

●目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り孤立防止につなげる

・見守り声かけ訪問活動

ひとり暮らし高齢世帯等に対して、日常的な見守りや定期的な声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。

・生活支援活動

ひとり暮らし高齢者及び障がい者世帯の状況把握に努め、除雪時は除雪ボランティアと滑り止め用の砂利を配った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

地域のつながりづくりとひとり暮らし高齢者の孤立防止につながった。また、生活上の困りごとに対する相談や細やかな支援により、安心して生活できる環境づくりにつながった。

寿町内会

福祉委員人数	20人	世帯数	550
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 30回

●対象者 町内会役員・福祉委員

民生委員・小中学生

●目的 福祉活動の協議・検討、見守り世帯の情報交換。学童やドライバーへの交通安全推進と防犯

●実施事業

・福祉委員会（3カ月に1回）

福祉活動の協議・検討・実施活動の報告。見守り世帯の情報交換。

・研修会・小地域フォーラムへの参加

新任福祉委員研修会、小地域福祉活動研修会、小地域フォーラム等参加。

・町内定例役員会（13回）

町内の現状把握と情報交換。

・学童の登校時間帯の見守り

町内3か所の交差点での見守り、交通安全指導。

・防犯パトロール

車両用ステッカーを自家用車に貼付し、日常走行を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

新任福祉委員の研修会参加により、具体的な活動内容を把握することができ、委員間の意見交換につなげることができた。町内会での福祉委員の位置づけ、活動の必要性を実感し、町内の動き、現状を把握できた。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 町内会会員

●目的 要支援者の早期発見と対応

●実施事業

・福祉マップ作成

町内の住宅地図を利用し、各担当地区を分担して高齢者・障がい者・ひとり暮らし高齢者を抽出、情報の共有を図る。

・福祉委員間の連絡網作成

福祉部内の民生委員、区長の連絡網により、対応の時間的ロスを防ぐ。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・市役所

●事業成果

委員間の情報共有により、担当地区の正確な情報を把握し、対応できた。民生委員が福祉委員に加わったことで、見守り対象者の把握が容易になり、スピーディな対応ができた。



3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数

50回

●対象者

75歳以上・高齢者・障がい者

（対象者数170人）

●目的

長寿のお祝い、高齢者の仲間づくり、地域のつながりづくり

●実施事業

・高齢者を囲む会（1回）

区長による対象者宅への案内状配布にて出欠確認を行い、女性部の協力を得て、手作り料理を提供。会食・会談、カラオケ、ゲームなどで高齢者相互の親睦を深めた。

・介護予防サロン（5回）

福祉委員が毎月コミセンで行われている介護予防体操に出席し、体操実技を習得。また、介護予防センターの出前講座を利用し、いきいき百歳体操・かみかみ百歳体操を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・介護予防リーダー認定員

●事業成果

対象者宅へ個別に案内状を配布したことにより、近況・安否確認につながった。出席した高齢者、準備に関わったスタッフは、町内会会員である意識を持ち、親睦を深めることができた。

座って行える体操であったため、危険性が低く個々の体力に合わせて自己調整が可能であった。また、町内会館で開催したため、距離的に集まりやすく、定例化することで参加者が増えた。

幌加連合会

福祉委員人数	2人	世帯数	22
--------	----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数

12回

●対象者

高齢者・障がい者

（対象者数27人）

●目的

地区内の高齢者の交流、親睦向上と輪を広げる

●実施事業

・ふれあいサロン（月例会・毎月18日）

おしゃべり、食事会、レクリエーション、カラオケ健康体操等を実施した。

・社会奉仕活動（年2回）

春と秋の2回、道路の空き缶拾い、公民館の清掃を実施した。

・一泊・日帰り温泉旅行、施設見学

・出前講座

泉郷駐在所長による交通安全とおれおれ詐欺防止の講義があった。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

ひとり暮らし高齢者の安否確認や健康状態の把握につながり参加者同士の交流ができた。また、高齢者の引きこもり防止につながった。

協和連合会

福祉委員人数	2人	世帯数	26
--------	----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 8回
- 対象者 高齢者・子ども
- 目的 高齢者の健康と親睦を図る
町内の防犯
- 実施事業
 - ・月例会
高齢者の健康と親睦を図り、引きこもり解消に努める。
 - ・見守り
小・中学校の夏休み中の見守りを実施した。
- 事業成果
高齢者の健康増進や引きこもり防止、町内の犯罪抑止につながった。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 8回
- 対象者 高齢者・町内会会員
(対象者数 120人)
- 目的 高齢者の健康増進と会員の親睦を図る
- 実施事業
 - ・月例会
月例会を主として、健康の語らい、将棋、カラオケ、パークゴルフ、冬季間はいきいき百歳体操等を実践した。また、日帰り及び一泊旅行で温泉旅行通じ、会員の親睦を深めた。
 - ・奉仕活動
公民館周辺の草取り、空き缶拾いを実施した。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ
- 事業成果
高齢者の健康増進や引きこもりの抑止、会員の親睦、交流が図れた。

新川連合会

福祉委員人数	2人	世帯数	32
--------	----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 1回
- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 20人)
- 目的 高齢者の親睦交流と認知症予防
- 実施事業
 - ・認知症予防
包括支援センターに来てもらい講習会を実施した。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ・包括支援センター
- 事業成果
認知症予防について真剣に聞いた。

東丘連合会

福祉委員人数	2人	世帯数	65
--------	----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 6回
- 対象者 60歳以上の高齢者
(対象者数 46人)
- 目的 高齢者の親睦の輪を広げる
- 実施事業
 - ・月例会
 - 4月 寿の家周辺の清掃及びお茶会
 - 6月 パークゴルフ大会及び反省会
 - 8月 東丘共同墓地清掃及びお茶会
 - 10月 寿の家周辺の清掃と日帰り温泉
 - 12月 忘年会（ビンゴゲーム・カラオケ）
 - 2月 出前講座（交通安全教室）及びお茶会
- 連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・市役所

●事業成果

会員の親睦を図り、近況報告等を話し合うことができてよかった。大変喜ばれました。

支笏湖自治振興会

福祉委員人数	5人	世帯数	120
--------	----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 4回
- 対象者 自治会役員・支笏湖小学校PTA役員・福祉委員・消防団役員（対象者数20人）

●実施事業

・拡大福祉委員会

子ども達との交流事業や高齢者に対しての事業、さらには防災から住民を守るために組織されている消防団との連携による福祉関連事業の打合せ等を実施した。

●事業成果

福祉委員と地域団体との連携の強化につながり、消防団との連携も高齢者や子ども達の安全を考える上で大きな成果となった。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 6回
 - 対象者 自治会員（対象者数150人）
 - 目的 地域住民の交流
- ### ●実施事業

・早朝清掃活動（4回）

小学生・老人クラブ・青年会・自治会等各種団体に清掃活動を行った。5月と10月は、支笏湖のまちづくり団体(NPO)が主催している国道453号線のゴミゼロキャンペーンにも連動し大々的に行った。

・スポーツ交流会（1回）

支笏湖市民センター横の特設パークゴルフ場

にて60歳以上の高齢者を中心に、支笏湖小学校の生徒とパークゴルフによるスポーツ交流を行い、26名の参加があった。

・収穫祭（1回・28名）

子ども達を中心に育てたジャガイモ等でカレーライスをつくり、地域に住む高齢者を招待して一緒に会食をした。高齢者には支笏湖の昔の話を、子ども達からはクイズや手品などを披露し、ひと時を過ごした。

●事業成果

地域住民（特に高齢者）が支笏湖小学校の生徒とともに交流を重ねることは、地域全員で子どもを育てるという意識の向上だけではなく、子ども達の郷土愛も育まれ、さらには災害時におけるネットワークの強化にもつながっている。今年度は小学生の数も増え、過疎化の進む当地域において喜ばしいことであった。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者（対象者数20人）
- 目的 ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯を中心に災害時の対策として

●実施事業

・見まわり、安全確認

各家を訪問し、自分達では出来ない作業（電球の交換、物の移動、物の修理など）を支援することに努めた。本年も何度か停電があり（王子製紙の電力使用）その都度ひとり暮らし高齢者を訪ね、電気のチェックを行った。

・高齢者への生活支援活動

当地は交通が不便であり、更には生活用品及び食料品の販売店がないため、代行して買い物などを行う活動をした。配達業者への手続き等も手助した。

・除排雪の支援

今シーズンは雪が少なく除雪回数は、少なかったが、支笏湖消防団の皆様に、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に火元（プロパンガス・ストーブ等）の点検を行っていただいた。

●事業成果

突然の災害に対応するため、常日頃から一人暮らし高齢者などとのコミュニケーションが必要であり、その解決に役立つ活動である。

ゆうまい町内会

福祉委員人数	21人	世帯数	998
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 通年実施

●対象者 町内会長・役員・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数 35人)

●目的 福祉委員活動における情報交換
及び共有・資質向上

●実施事業

・福祉部会

福祉活動の協議・計画・実施・反省を行った。

・福祉委員会

総会時に救急カードを全戸配布し、年間を通してカードの設置、啓蒙を行った。

・福祉通信「YOU・MY・便」(3回)

13号～15号を発行した。

・福祉研修会の実施

・各種研修会出席

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所

●事業成果

救急カード事業の広がりを図るため、全戸配布の総会資料と一緒に案内及び申し込み用紙を配布する工夫をした。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 4回

●対象者 高齢者・障がい者・子ども
福祉委員
(対象者数 135人)

●目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり
地域のつながりづくり

●実施事業

・ふれあいサロン

5月「わいわいふれあい交流会」

室内パークゴルフやふまネットを実施した。

7月「七夕かざりを作ろう」

かざりや願い事をつるして飾った。七夕クイズで盛り上がった。

9月「いきいき学芸会」

参加者全員が司会やカラオケ、手品などをして楽しんだ。

11月「みんなでゲーム大会」

お絵かきですよや漢字の部首あてクイズ、ドーナツ食い競争などで楽しんだ。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター

●事業成果

ふれあいサロンが5年目となり、シニアの方々の世帯や顔が分かるようになり、声を掛けあうようになった。また、参加するシニアの方がサロンを楽しみにするようになった。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 通年実施

●対象者 全世帯(対象者数 1275世帯)

●目的 救急カード事業

●実施事業

・救急カード事業

回覧板や福祉だよりで啓発活動を実施した。また、新しい試みとして、総会資料(総会前に全戸配布)に救急カードの説明及び申込書を添付し、総会当日、救急カードの受け取りができるように福祉部員を配置した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会

みどり団地1号棟自治会

福祉委員人数	3人	世帯数	51
--------	----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 年間を通して
- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 50人)
- 目的 福祉委員の情報交換等
- 実施事業
 - ・福祉委員会
福祉委員の活動・情報交換を行い、共有意識を確認した。
 - ・掲示板での啓発
掲示板により福祉委員・民生委員の周知を行った。また、行事、連絡事項のお知らせや詐欺などの注意の呼びかけをした。
- 連携・協力機関及び団体
地域包括支援センター
- 事業成果
福祉委員が同じ情報を共有することができ、また、自治会行事に参加する高齢者が増えた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通して
- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 50人)
- 目的 支援世帯の把握
- 実施事業
 - ・定期巡回調査
定期的に巡回し高齢者等の状況を把握した。
 - ・救急カードの徹底
救急カードの記入内容の確認と追加事項の有無について調査し、状況を把握した。
- 事業成果
定期的な訪問により、支援世帯の変化を把握でき、福祉委員間で同じ情報を共有することができた。また、自治会行事に参加する高齢者が増えた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 4回
- 対象者 全世帯
(対象者数 150人)
- 目的 高齢者の孤立を防いで地域との絆を築く
- 実施事業
 - ・ふれあいサロン及び茶話会
参加者みんなで調理、会食した。また、小規模で茶話会を実施した。
- 事業成果
高齢者の健康状態、心配ごとの把握につながった。知らなかった住人とも話しができるようになった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通して
- 対象者 高齢者・障がい者
- 目的 高齢者の孤立を防ぎ、地域との絆を築く
- 実施事業
 - ・見守り、声かけ
高齢者、障がい者へ日常的に声をかけや見守りを行い、困っている時には手伝うなど支援を行った。
- 事業成果
高齢者、障がい者の生活向上の手伝いに努めることができた。

みどり台北町内会

福祉委員人数	7人	世帯数	290
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 6回
- 対象者 全世帯（320世帯）
- 目的 地域福祉情報及び子育て支援情

報を提供することにより、地域のつながりづくりや安心して子育てできる環境整備に努める。

●実施事業

・広報誌「みどり台北通信」の発行（奇数月）

年6回広報誌を発行し、子育て支援情報や地域福祉情報を提供した。

●事業成果

地域住民へ地域福祉情報や地域のイベント等をお知らせすることで、住民同士のつながりづくりを促進することにつながっている。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 1回

●対象者 町内会員（対象者数 288 世帯）

●目的 子どもと高齢者及び地域住民同士のつながりづくりを促進する

●実施事業

・町内なつまつり

町内にある高齢者施設ゆうしんかんと合同でなつまつりを開催し、施設入居者と地域住民及び地域住民同士の連帯意識の向上を図った。

●連携・協力機関及び団体

千歳市子ども会育成連合会、シニア・リーダー「つばさ」

●事業成果

地域に住む子どもと施設に入居する高齢者との交流や地域住民同士の連帯意識の向上を図ることにつながっている。